

高萩市公共施設等管理計画
中間評価報告書

令和5年5月

高萩市

目次

はじめに… 1

1 高萩市公共施設等管理計画（改訂版）および高萩市公共施設個別施設計画について… 1

2 中間評価の目的… 1

3 中間評価の実施方法… 2

4 評価の考え方… 2

5 中間評価の結果… 3

6 用途別実態把握… 8

7 個別施設計画の進捗および現状について… 31

8 コストシミュレーションについて… 56

9 最近の主な取組… 57

10 今後について… 58

講評… 59

参考資料…60

はじめに

本市では、1970年代から80年代を中心に、増加する人口にあわせ、多くの公共施設を整備してきました。現在は、この時期に整備された公共施設が一斉に更新（大規模改修や建替え）の時期を迎えています。

一方で、現在の財政状況は、人口減少・高齢化に伴う税収の減少等が見込まれる厳しい状況に加え、社会保障関係経費の増加や、近年では物価や光熱費高騰の影響を大きく受け大変厳しい財政状況になっています。

公共施設マネジメントは、市民の生命と財産を第一に考え、限られた財源のなかで適切な老朽化対策を講じていくために、人口規模に合わせた適正配置と適正量保有を目指す、大変重要な取組です。

その取組を推進するにあたっては、公共施設の整備や管理運営をより一層効率的に行い、既存施設の集約化・複合化を推進していくこととなりますが、本市では、機能は減らすことなく、施設を集約することで、それによる利便性の向上や機能の充実を図ることを目指しています。

人口規模に合わせた適正配置と適正量保有のためには、市民の皆様との合意形成が不可欠となります。そのため、本報告書では、市民の皆様、本市の公共施設マネジメントについてご理解いただくため、進捗状況や今後の方向性についてご報告いたします。

1 高萩市公共施設等管理計画（改訂版）および高萩市公共施設個別施設計画について

これまで本市では、「高萩市公共施設マネジメント白書（平成25年1月）」、「高萩市公共施設等管理計画基本方針（平成26年3月）」を策定し、公共施設等の老朽化対策に取り組んできました。

また、令和2年3月には、市の公共施設や公共施設を取り巻く状況も変化してきたことから、将来を見据えた具体的な改善策をとりまとめた「高萩市公共施設等管理計画 改訂版」（以下、「管理計画」）を策定するとともに、管理計画の基本的な考え方や改善の方向性を踏まえた公共施設の修繕・更新の実施計画である「高萩市公共施設個別施設計画」（以下、「個別計画」）をあわせて策定し、老朽化対策や公共施設等の適正配置・適正保有に取り組んでいます。

2 中間評価の目的

管理計画・個別計画作成時に設定した取組について、個別計画の中間年度に当たる令和4年度に、令和2年度、令和3年度の全体の管理指標の進捗状況や、個別計画の取組状況等について、確認と評価を実施し、その結果を今後の個別計画に反映させることを目的とします。

3 中間評価の実施方法

管理計画の実施計画である個別計画に関する評価結果及び達成要因・未達成要因を踏まえ、管理計画全体の実績値の推移の確認および達成要因・未達成要因の整理を行います。

また、個別計画の計画期間は令和2年度以降ですが、管理計画策定時に平成30年度（一部平成29年度）の実績値を基準としたため、令和元年以降の実績値を用いて評価を行います。

4 評価の考え方

各目標値について、事業実施体制・事業実施過程・成果の3つの視点に基づき、評価を行います。

(1) 事業実施体制指標の評価に当たっては、以下の定義に従い、A～Dの4段階に区分します。

- A：十分であった。
- B：不足していた。
- C：全くなかった。
- D：評価困難

(2) 事業実施過程指標の評価に当たっては、以下の定義に従い、A～Dの4段階に区分します。

- A：十分であった。もしくは、実施目標を達成している。
- B：不足していた。もしくは、実施目標には届かなかったが実施した。
- C：全くなかった。もしくは実施しなかった。
- D：評価困難

(3) 成果指標の評価に当たっては、以下の定義に従い、A～Dの4段階に区分します。

- A：目標を達成している。
- B：目標には届かなかったが改善が見られる。
- C：改善が見られない。
- D：評価困難

<p>事業実施体制……計画立案・実施構成・評価体制を指す。 計画の目的・目標を達成するためのしくみや体制のこと。</p> <p>事業実施過程……事業の実施過程を指す。 事業を実施するための準備状況や、実際の進め方など。</p> <p>成果……事業の実施状況・実施量。また、計画を実行することにより目指す 目標や目的。</p>
--

5 中間評価の結果

(1) 事業実施体制…B

取組状況を評価する体制については、庁内関係職員で構成する幹事会のみ開催となり、外部委員で構成する高萩市公共施設管理計画策定委員会が開催できず、体制は不足していました。

(そのため、令和4年度は、組織改編によりアセットマネジメントの所管を企画部門に移管し、関連部署と連携し、情報共有を図るとともに、外部委員で構成する高萩市公共施設管理計画策定委員会から評価を受ける体制を構築しています。)

また、個別施設計画を推進するにあたっての予算等については、財政状況を鑑み、優先して推進するものから、予算を確保し、執行しました。

(2) 事業実施過程…B

利用状況や、個別施設計画の実績については、現状分析が不足していましたが、令和2年度、令和3年度ともに、量的データとして固定資産台帳および施設別行政コスト計算書を作成し、現状把握を行いました。

また、実施計画である個別施設計画は、一部の事業では、財政状況により先送りとなった取組や、施設のあり方の検討に時間を要したため計画どおりに進めることができなかった取組（コミュニティ施設の集約・廃止方針の決定や、学校施設のあり方に関する計画策定など）もありましたが、主要な取組の1つである幼保一元化施設は計画どおり整備できました。

※幼保一元化施設については、高萩保育所と2幼稚園を統合し、令和4年度に「たかはぎ認定こども園」として開園しています。さらに、令和12年度以降に予定していた松岡幼稚園の集約化についても、本年度をもって閉園し、集約化していく予定としており、計画を前倒しして、幼保一元化を推進しています。

(3) 公共施設の成果指標…下表のとおり

管理計画の目的である延床面積とコスト削減に向けた取組の管理指標として掲げる6指標について評価を行いました。

(公共施設)

管理指標	ベースライン 2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	現状 2021 (R3)	評価
1 延床面積 (全体/市民1人当たり)	延床面積の ベースライン はR1	145,000 m ²	143,100 m ²	144,100 m ²	C
		5.2 m ² /人	5.2 m ² /人	5.3 m ² /人	
管理計画では、2029 (R11) 年までに、延床面積を 11,470 m ² 削減することを目標としています。1年あたりに換算すると、1,147 m ² となるため、本管理指標においては、毎年度 1,147 m ² ずつ削減できているか評価します。2021 (R3) 年までに削減できた面積は 900 m ² のため、評価は C (改善が見られない) としています。また、次のページで用途別にも評価を行っています。					
2 稼働率 (1施設当たり)	管理計画 P.21 ~P.42	6 用途別実態把握 参照			
	市民が利用する施設の利用者数については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全体的に減少。				
3 行政コスト (全体/市民1人当たり)	16.4 億円 ※H29	17.0 億円	17.4 億円	未確定	C
	5.9 万円/人	6.1 万円/人	6.3 万円/人	未確定	
管理計画では、施設の再編に伴い、40年間で92億円の行政コストが削減されると試算しています。2029 (R11) 年までは、毎年度前年度比で590万円ずつ削減することになります。2020 (R2) 年は、ベースライン比+1億円のため、評価は C (改善が見られない) としています。					
4 更新コスト (全体/市民1人当たり)	12.0 億円	14.9 億円	11.5 億円	17.3 億円	D
	4.3 万円/人	5.3 万円/人	4.1 万円/人	6.4 万円/人	
施設再編の時期は施設によって異なり、単年度では、その更新コストの多寡で是非を判断できるものではないため評価困難 (D) としています。ただし、10年間の期ごとの計画見直しの際に、その期の更新コストについても検証します。					
(参考値) 公共施設等整備費支出 (一般会計等)	8.43 億円	9.17 億円	7.35 億円	未確定	D
	参考値であり、また更新コスト同様、多寡で是非を判断できるものではないため、評価困難 (D) としています。				
5 老朽化度 (全体)	55.3%	56.6%	58.1%	未確定	C
	本指標は、有形固定資産減価償却率であり、100%に近いほど老朽化の程度が高いということになります。本管理指標においては、毎年度ベースラインとの比較で評価します。2020 (R2) 年は、ベースライン比+2.8%のため、評価は C (改善が見られない) としています。				
6 計画との整合性	—	7 個別施設計画の進捗および現状について 参照			
	個別計画における実施目標について、達成しているかどうか、用途別に評価します。				

■保有施設の状況（公共施設）

主な用途 管理計画改訂時の面積 ()内は市民1人当たり	本計画における現状			
	実態・課題	R3の面積	削減面積	評価
市役所等 6,400㎡ (0.2㎡/人)	●築5年以下であり、施設の不具合は生じていない。	6,400㎡ (0.2㎡/人)	—	D
その他文化・教育施設、 体育館、図書館 10,000㎡ (0.4㎡/人)	●施設数等に大きな変化ない。 ●利用者数は全体的に減少傾向。	10,000㎡ (0.4㎡/人)	—	D
福祉施設等 6,000㎡ (0.2㎡/人)	●総合福祉センターの年間利用者数は減少傾向にある	6,000㎡ (0.2㎡/人)	—	D
市営住宅 47,700㎡ (1.7㎡/人)	●萩ヶ丘住宅5棟、坂東塚住宅5棟が廃止。花貫住宅A棟～C棟は令和2年度から住替え対象。 ●全体的に入居率は低下している。	46,800㎡ (1.7㎡/人)	△900㎡	B
コミュニティ施設 10,100㎡ (0.4㎡/人)	●利用者数は全体的に減少傾向にあり、小規模集会施設では1日当たりの利用が1人未満の施設が大半を占めている状況。 ●いずれの地域でも利用者は減少している。	10,100㎡ (0.4㎡/人)	—	C
学校施設 44,600㎡ (1.6㎡/人)	●児童生徒数は減少傾向にあり、今後20年で約40%以上減少予測	44,600㎡ (1.6㎡/人)	—	C
児童福祉施設 2,900㎡ (0.1㎡/人)	●幼保一元施設の整備 ●幼稚園の入園率はいずれも30%以下	3,500㎡ (0.1㎡/人)	+600㎡	C
環境衛生施設等 10,600㎡ (0.4㎡/人)	●リサイクルセンター、クリーンセンターの稼働状況はほぼ横ばい ●斎場は年度により利用にばらつきがあるがほぼ横ばい。	10,700㎡ (0.4㎡/人)	+100㎡	C
閉校廃止施設 6,700㎡ (0.2㎡/人)	●旧君田小中学校（10年定期賃貸）、旧分庁舎、旧第二分庁舎。駒木原倉庫は解体	6,100㎡ (0.2㎡/人)	△600㎡	B
145,000㎡ (5.2㎡/人)		144,100㎡ (5.3㎡/人)	△800㎡	C

※端数処理により、R3面積は、管理計画改訂時の面積とR3までの削減面積の差と一致しない。
また、市民1人当たりの面積についても内訳と合計は一致しない。
※市役所等、その他文化・教育施設、体育館、図書館、福祉施設等は削減目標がないため評価困難(D)。

今後の方向性					
施設類型別の方向性	削減面積				40年後の面積
	～2029 (R11)	～2039 (R21)	～2049 (R31)	～2059 (R41)	
⇒ ● 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。	—	—	—	—	6,400 ㎡
⇒ ● 老朽化した施設は、耐用年数をむかえた段階で廃止し、類似施設へ機能移転	—	△3,000 ㎡	△1,600 ㎡	—	5,400 ㎡
⇒ ● 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。	—	—	—	—	6,000 ㎡
⇒ ● 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から削減 ● 民間住宅の借上げ方式への転換等により、施設総量の圧縮を図る ● 経過年数に限定せず、維持管理費とのバランスに留意して施設廃止を検討	△4,200 ㎡	△4,800 ㎡	△29,600 ㎡	—	9,100 ㎡
⇒ ● 地域住民に対しての適正量を検討し、類似施設や機能の重複している施設を機能転換し、集会機能の全体総量の圧縮を図る。その際、老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から廃止 ● 公民館や学校等の空きスペースを活用し機能移転を行う。	△4,800 ㎡	△2,700 ㎡	+8,000 ㎡	△3,800 ㎡	6,800 ㎡
⇒ ● 将来の児童生徒数を見据え、適正規模・適正配置により総量を圧縮する。	△7,300 ㎡	△13,600 ㎡	△12,400 ㎡	—	11,300 ㎡
⇒ ● 幼保一元化を推進し、現在保有する5施設を段階的に集約して総量を圧縮する。	△870 ㎡	△1,170 ㎡	—	—	860 ㎡
⇒ ● 施設の稼働率等を考慮の上、施設の更新時に適正規模を検討し圧縮を図る。	△1,400 ㎡	—	—	—	9,200 ㎡
⇒ ● 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設は解体する。また、利活用を検討する。	+7,100 ㎡	+1,300 ㎡	△300 ㎡	△14,800 ㎡	0 ㎡
	△11,470 ㎡	△23,970 ㎡	△35,900 ㎡	△18,600 ㎡	55,060 ㎡

■ 保有施設の状況（インフラ施設）

種別		H26.3策定時 保有面積	H30末 保有面積 (A)		現在 保有面積 (B)	差引 (C) = (B) - (A)	備考	保有量の増減理由
道路	一般道路	228万2,762㎡	230万4,479㎡	⇒	209万4,910㎡	△20万9,569㎡	R3年度 未現在	国有林内の市道を 廃止したため
	自転車 歩道	62万5,813㎡	61万5,498㎡	⇒	55万3,201㎡	△6万2,297㎡	R3年度 未現在	国有林内の市道を 廃止したため
橋りょう	橋りょう	234橋	230橋	⇒	224橋	△6	R3年度 未現在	国有林内の市道を 廃止したため
	橋りょう 面積	1万7,137㎡	1万7,089㎡	⇒	1万7,089㎡	0	R3年度 未現在	
公園	施設数	54施設	55施設	⇒	55施設	0	R3年度 未現在	
	延面積	5万2,957㎡	9万7,350㎡	⇒	9万7,350㎡	0	R3年度 未現在	
上水道	総延長	約18.0万m	約18.0万m (180,390m)	⇒	約18.1万m (181,708m)	約0.1万m (1,318m)	R3年度 未現在	配水区域間の連絡管 布設のため増加
下水道	総延長	約19.0万m	約20.7万m (207,645m)	⇒	207,738.4m	93.0m	R3年度 未現在	樹設置申請による延 長増

6 用途別実態把握（令和3年度末現在）

(1) コミュニティ施設

① 対象施設一覧

コミュニティ施設として、公民館を7施設、集会所を23施設、生活改善センターを16施設、その他コミュニティ施設を4施設の合計50施設保有しています。

図表 施設一覧

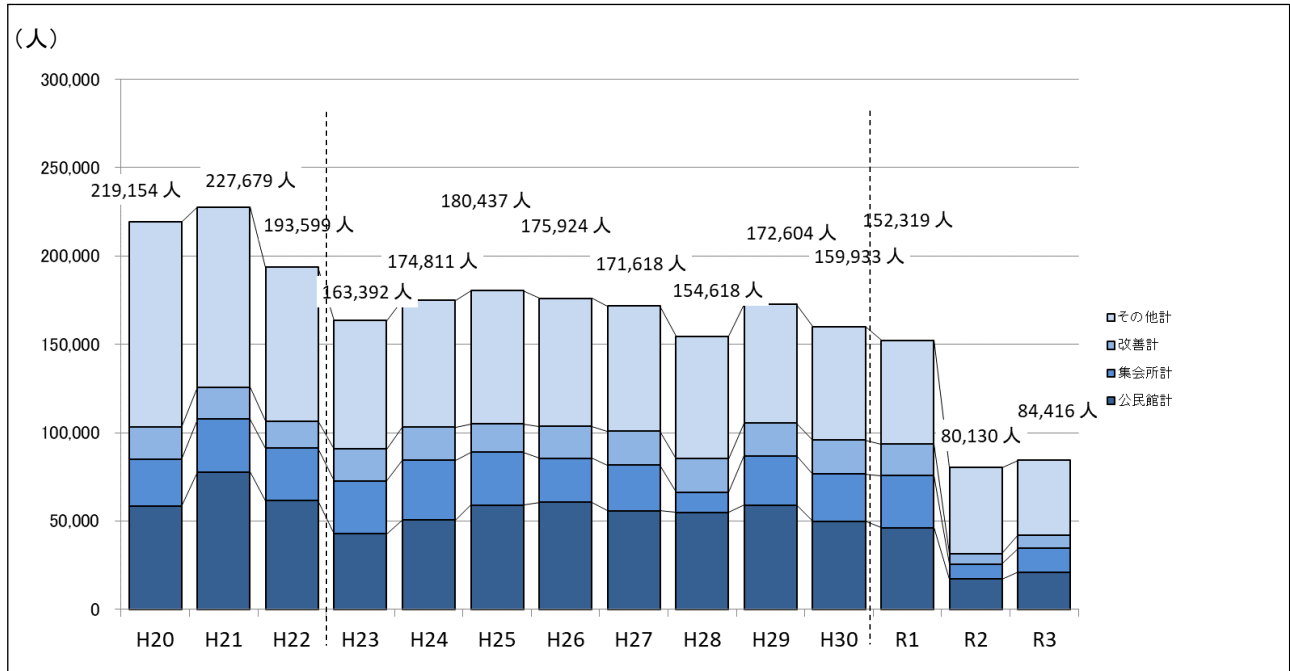
地域	名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年 度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能					備考
								集 会 議 室	調 理 室	工 作 室	図 書 室	そ の 他	
公民館	1 中央公民館	高萩市高萩17-3	981	1971	RC	2F	市直営	●	●	●	●	—	
	2 石滝公民館	高萩市石滝483-3	111	1984	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	3 安良川公民館	高萩市安良川74-1	329	1962	RC	2F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	4 竹内公民館	高萩市島名2230	151	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
	5 松岡地区公民館	高萩市下手綱787-1	613	1989	S・W	1F	市直営	●	●	—	●	—	
	6 若栗公民館	高萩市若栗227	94	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
	7 中戸川公民館	高萩市中戸川1211	132	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
集会所	1 有明町集会所	高萩市有明町2丁目13-1	195	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	2 肥前町集会所	高萩市肥前町2丁目1-8	101	1979	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	3 東本町集会所	高萩市東本町2丁目51	246	1995	RC	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	4 駒形集会所	高萩市安良川272-164	136	1990	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	5 翠ヶ岡集会所	高萩市安良川2183-6	84	2005	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	6 本町・春日町集会所	高萩市春日町3-10-16	70	2006	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	7 石滝上ノ台集会所	高萩市石滝2604-3	135	1991	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	8 台高萩集会所	高萩市高萩903-1	135	1992	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	9 駒木原集会所	高萩市高萩790-2	190	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	10 向洋台集会所	高萩市島名2118-87	161	1985	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	11 島名東集会所	高萩市島名1710-3	109	1997	軽量S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	12 上島名千代町集会所	高萩市島名2253-142	128	1995	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	13 秋山中集会所	高萩市秋山625-5	120	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	14 秋山南集会所	高萩市秋山2433-9	123	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	15 和野集会所	高萩市秋山83-1	98	1979	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	16 高戸集会所	高萩市高戸810-3	132	1997	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	17 行人塚集会所	高萩市高戸192-1	204	1975	S	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	18 上原集会所	高萩市上手綱3223-14	40	1988	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	19 小島団地集会所	高萩市下手綱1962-2	233	1995	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	20 千代田集会所	高萩市上手綱1911-1	110	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	21 関口集会所	高萩市上手綱2807-9	112	1981	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	22 てつな住宅団地集会所	高萩市上手綱5150-4	232	2012	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	
	23 福平集会所	高萩市福平93-1	45	1994	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
生活改善センター	1 秋山生活改善センター	高萩市秋山806-1	108	1983	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	調理はミニキッチン程度
	2 秋山下生活改善センター	高萩市秋山1164	131	1985	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	3 秋山中集落センター	高萩市秋山1829	155	1990	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	4 島名多目的研修会館	高萩市島名1604-2	219	1980	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	5 山手集落センター(山手公民館)	高萩市高萩460-3	174	1989	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	6 北組コミュニティセンター	高萩市上手綱2485-1	146	1999	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	7 上手綱生活改善センター	高萩市上手綱1769-6	108	1982	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	8 下組生活改善センター	高萩市上手綱52	130	1986	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	9 石舟生活改善センター	高萩市上手綱3146-1	110	1986	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	10 赤浜田園都市センター	高萩市赤浜1397-1	150	2010	W	1F	管理人(地域住民)	●	—	—	—	—	
	11 大能生活改善センター	高萩市大能653	99	1979	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	調理はミニキッチン程度
	12 上君田生活改善センター	高萩市上君田715	271	1981	S・W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	13 横川生活改善センター	高萩市横川9-1	134	1989	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	14 緑の郷コミュニティセンター	高萩市下君田755	194	1976	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	15 大金田多目的集会所	高萩市横川947	53	1992	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
	16 鳥曾根多目的集会所	高萩市中戸川1848	101	1993	W	1F	管理人(地域住民)	●	●	—	—	—	〃
市民センター	1 高萩市民センター	高萩市春日町2-22	744	1981	RC	3F	委託(シルバー人材)	●	●	●	—	—	
	2 高萩市里山交流館	高萩市上君田715-1	118	1994	W	1F	市直営	●	●	—	—	—	平成23年開館
	3 森林公園	高萩市下手綱1952-17	311	1999	W	1F	委託(シルバー人材)	—	—	—	—	—	● 森林公園管理棟・グリーンミュージアム管理棟
	4 花貫物産センター	高萩市大能1100-2	367	2001	W	1F	指定管理	—	—	—	—	—	● 販売コーナー・食事処

② 利用状況 C 評価

■ 利用者数の推移

コミュニティ施設の年間利用者数の推移をみると、管理計画改訂時（H30 年度データ）は約 16.0 万人でしたがその後は減少傾向となっており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、令和2年度以降は8万人台となっています。

図表 利用者の年間推移



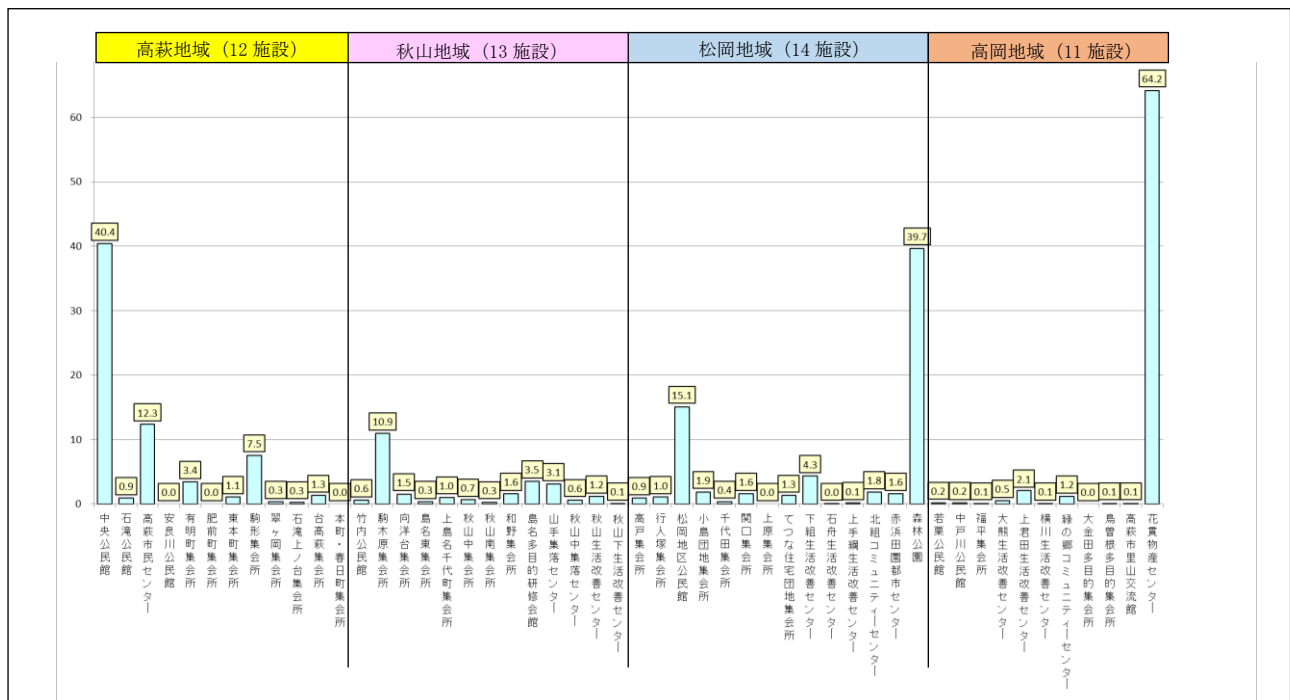
■ 1日当たりの施設別利用者数

中央公民館の1日当たり利用者数は40.4人（前回97.5人）、松岡地区公民館は15.1人（前回28.7人）と全体的に減少しています。

小規模集会施設は1日当たりの利用者数が1人未満の施設が大半を占めており、管理計画改訂時からさらに利用者が減少しています。

図表 1日当たりの利用者数（令和3年度）

※利用者数÷365日で算出

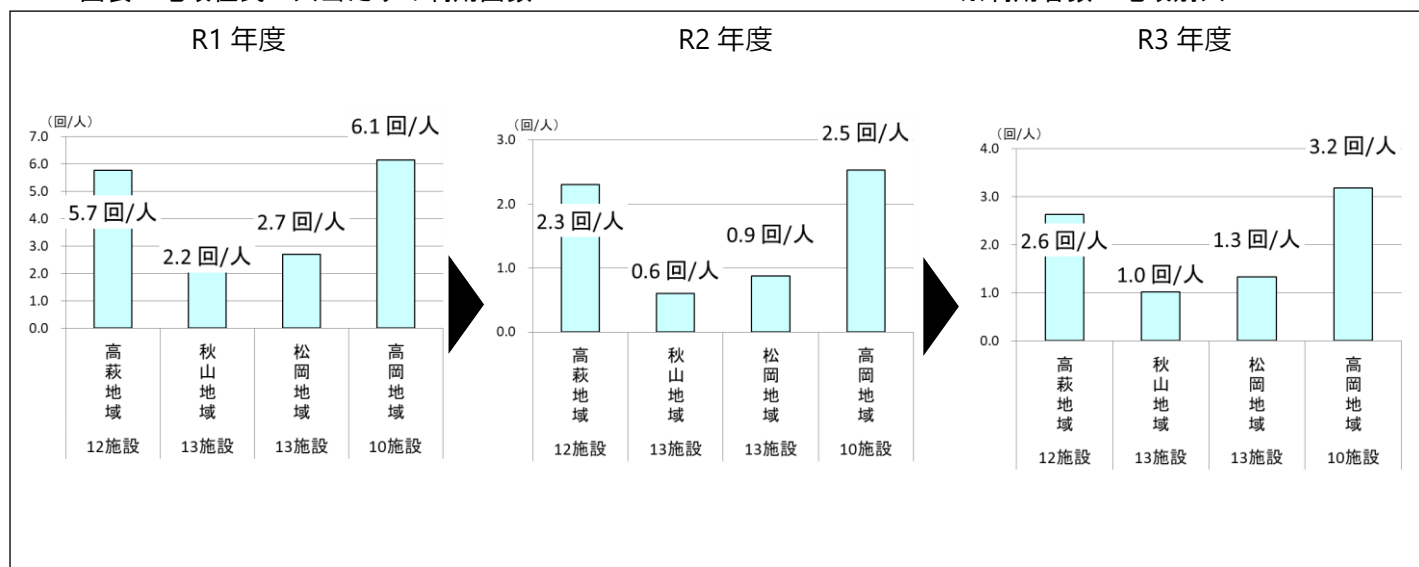


■ 地域住民 1 人当たりの利用回数

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和元年度と比較して令和2年度・令和3年度はほぼ半減している状況です。

図表 地域住民 1 人当たりの利用回数

※利用者数÷地域別人口



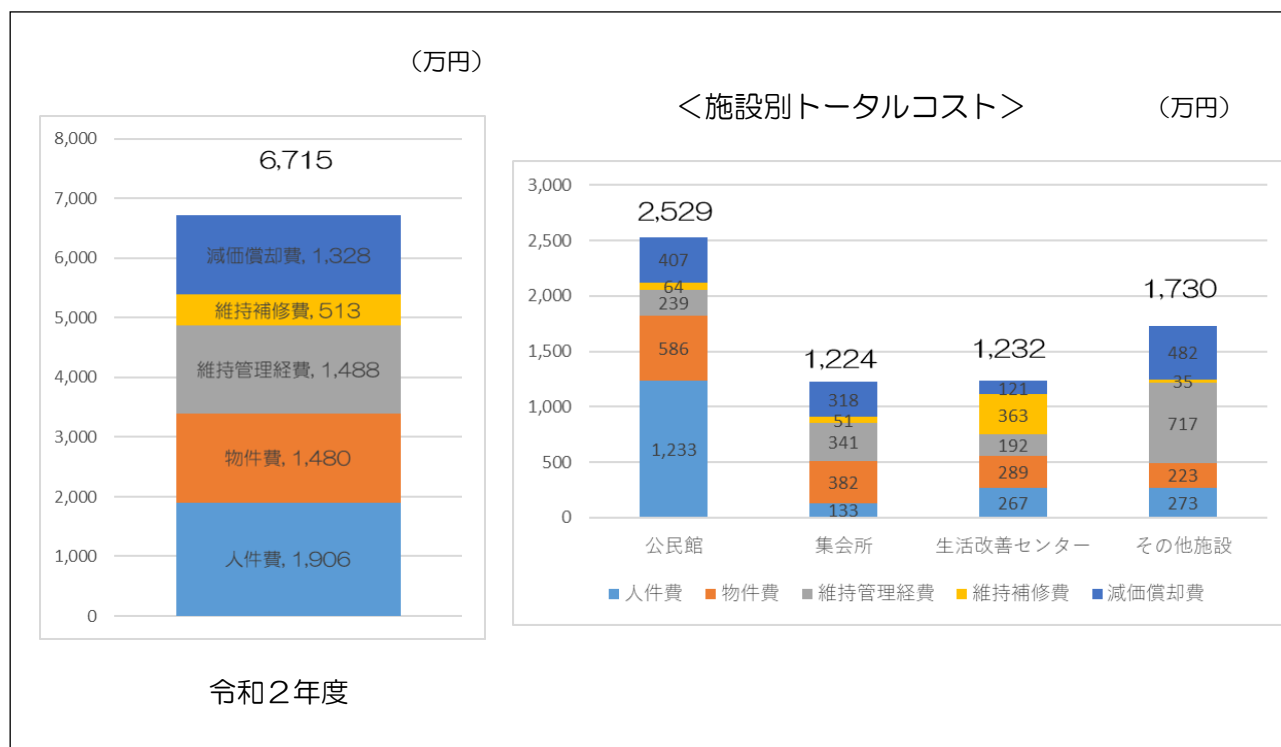
※上記には、森林公園と花賞物産センターを含んでいない。

③ コスト状況

■ コミュニティ施設のトータルコスト

コミュニティ施設全体のトータルコストは、6,715 万円です。そのうち、公民館が 2,529 万円（約 38%）で、集会所は 1 施設平均 53 万円、生活改善センターは 1 施設平均 77 万円となっています。

図表 コミュニティ施設トータルコスト



(2) その他文化・教育施設

① 対象施設一覧

その他文化・教育施設として、文化会館、リーベロたかはぎ、高浜スポーツ広場の3施設、資料館等では県指定文化財穂積家住宅、歴史民俗資料館の2施設の5施設があります。

基本方針策定時から、勤労青少年ホームが「高浜スポーツ広場」として変更になっています。

図表 施設一覧

	地域				名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能						備考	
	高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域							ホール	ホ 多 目 的	・ 集 議 会	調 理	音 楽	体 育 室		展 示
その他文化会館	●				文化会館	3,016	1980	SRC	3F	市直営	● (固定 670席)	—	●● ●	—	—	—	● (140 ㎡) (100 人)	
	●				リーベロたかはぎ	717	2006	W	1F	市直営	—	● (243㎡) (255人)	—	—	—	—	●● (53 ~ 128 ㎡) (55 ~ 130 人)	
	●				高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年 ホーム)	868	1977	RC	1F	市直営	—	● (136㎡)	●●	●	●	●	—	敷地内にテニスコ ート・グラウンド併設
の文化 展示・ 保存 財等			●		県指定文化財 穂積家住宅	322	1981	W	1F	委託(シル バー人材)	—	—	—	—	—	—	—	
	●				歴史民俗資料館	686	1983	RC	2F	市直営・委 託	—	—	—	—	—	—	—	

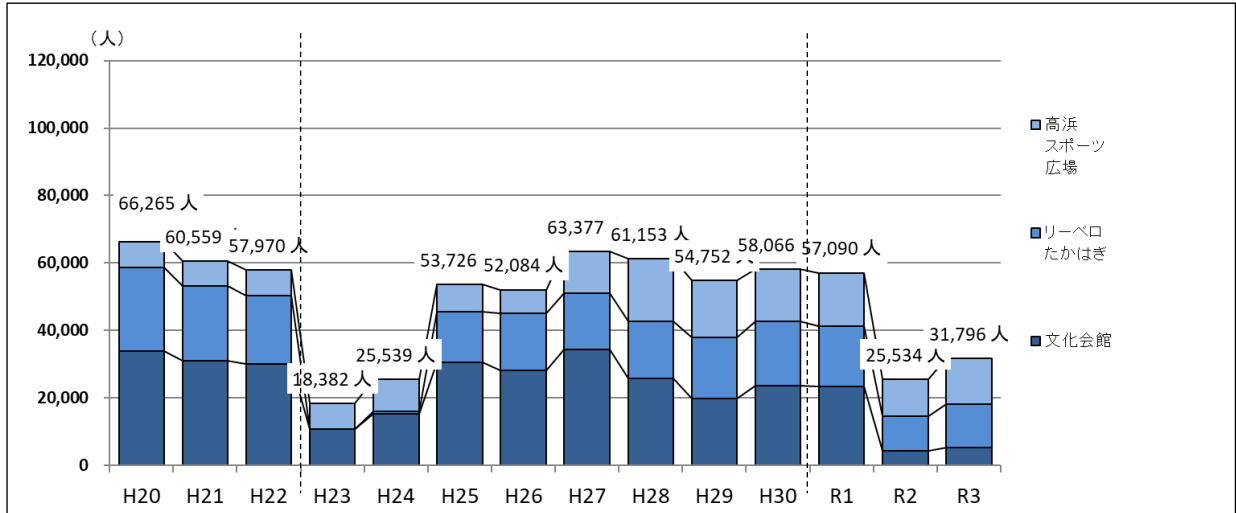
② 利用状況 C 評価

■ 利用者数

その他文化施設の年間利用者数の推移をみると、令和元年度までは5万人を越えていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、令和2年度以降はほぼ半減しています。

同様に、1日当たりの利用者数についても、3施設とも減少しています。

図表 その他文化施設の利用者の年間推移

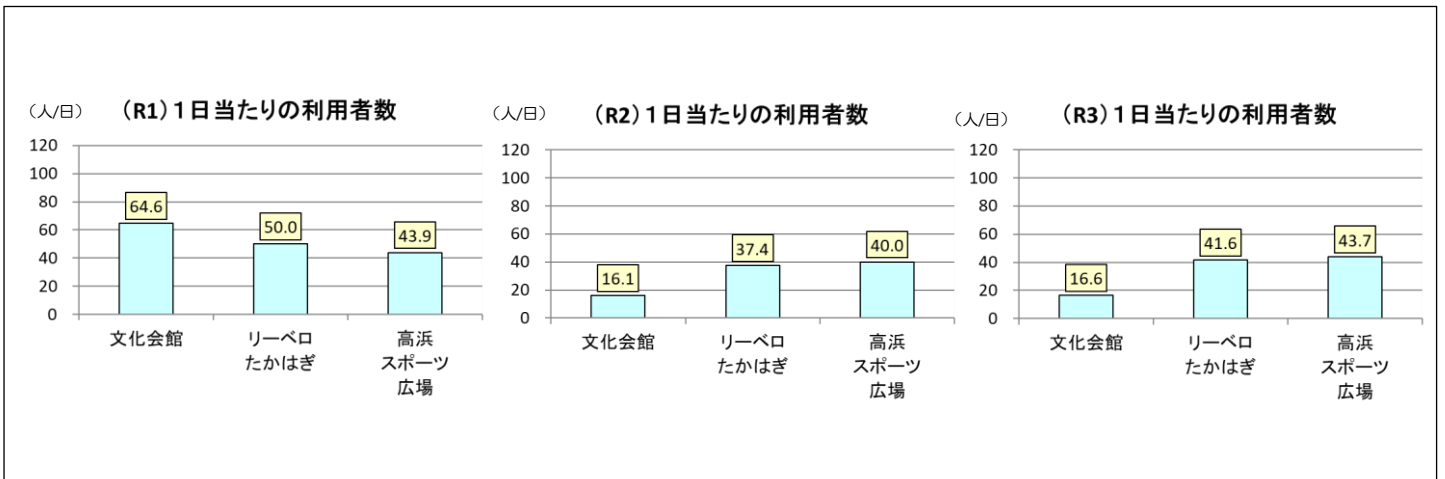


※高浜スポーツ広場は、H23年3月から8月まで震災により休館

※リーベロたかはぎは、H23年3月からH24年11月まで市役所として機能

図表 その他文化施設の1日当たりの利用者数

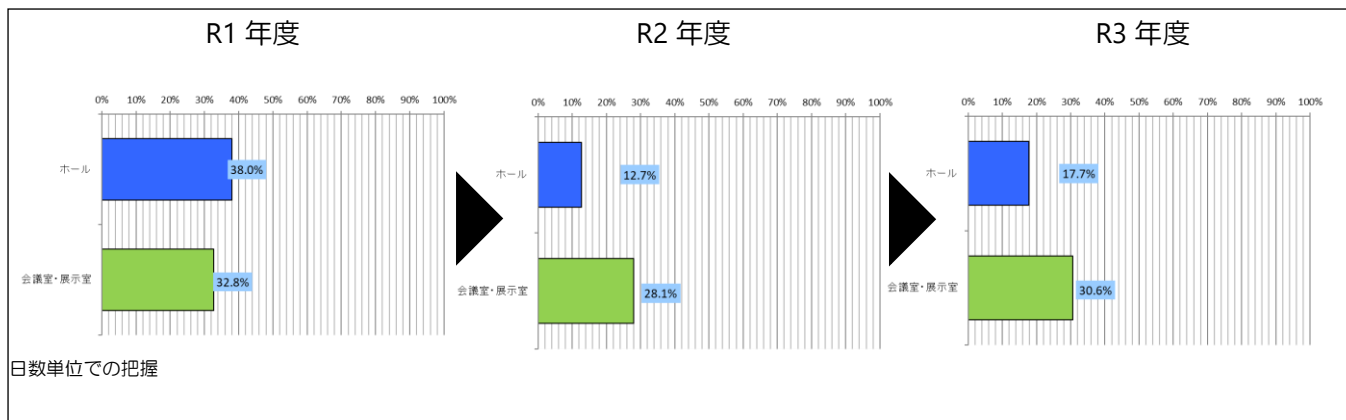
※利用者数÷運営日で算出



■ 施設別稼働率

文化会館のホールの稼働率は、令和2年度以降新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、20%以下となっており、利用が少ない状況です。また、会議室等についても30%前後で推移しており、利用が少ない状況です。

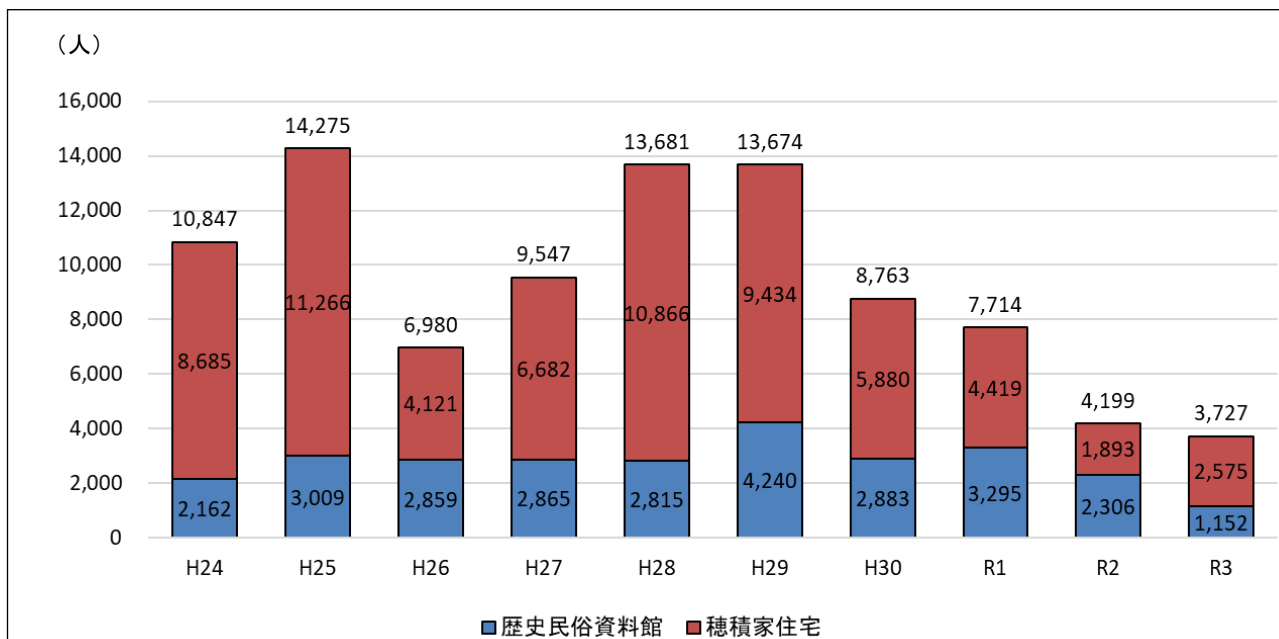
図表 文化会館 稼働率



■ その他教育施設の利用者数の推移

歴史民俗資料館及び穂積家住宅の年間利用者数は、令和2年度以降 5,000 人以下で推移しています。

図表 利用者数の推移

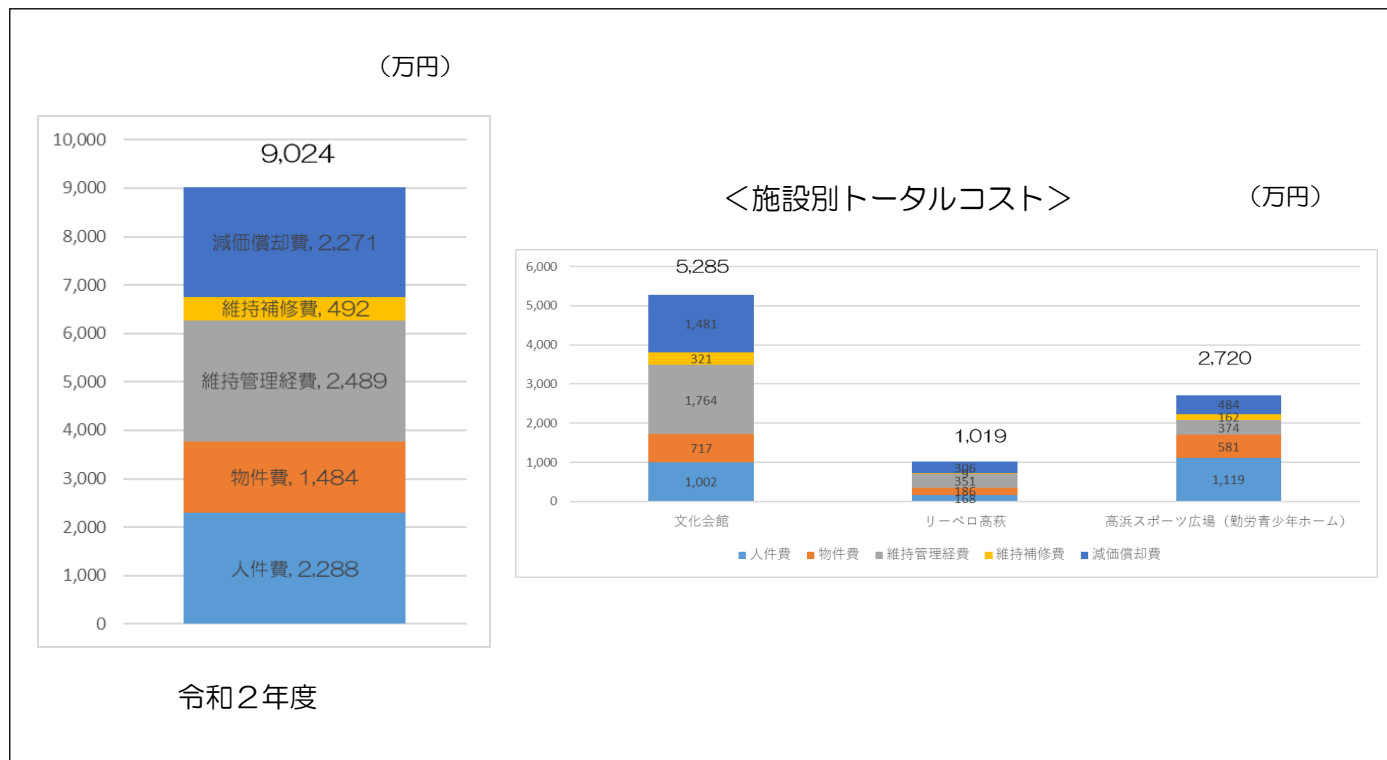


③ コスト状況

■ その他文化施設3施設のトータルコスト

その他文化施設3施設全体のトータルコストは、9,024万円です。そのうち、文化会館が5,285万円（約59%）で、リーベロたかはぎは1,019万円、高浜スポーツ広場は2,720万円となっています。

図表 その他文化施設3施設のトータルコスト



(3) 福祉施設

① 対象施設一覧

福祉施設として、総合福祉センターを保有しています。

図表 施設一覧

地域				名称	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	運営	保有機能							備考	
高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域							ホール	ホールの多目的	・集会 集会議	調理	音楽	体育室	展示		その他
●				総合福祉センター	5,972	2000	RC・S	2F	市直営	—	● (可動284人)	●●●●	—	—	—	●	—	多目的ホールは、ステージ付き

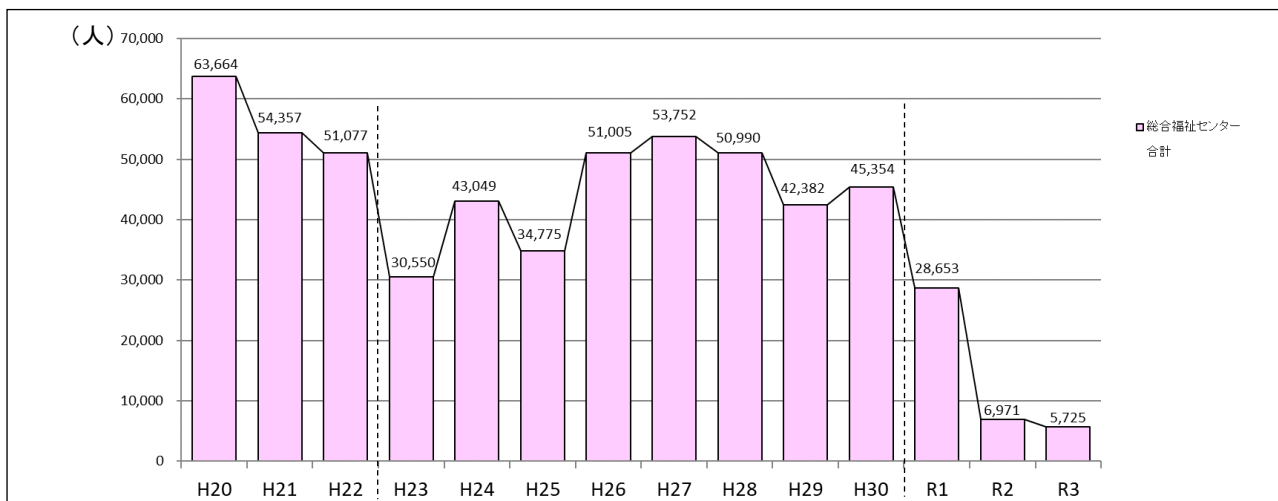
② 利用状況 C 評価

■ 利用者数

総合福祉センターの年間利用者数の推移をみると、令和2年度以降、1万人以下で推移しています。

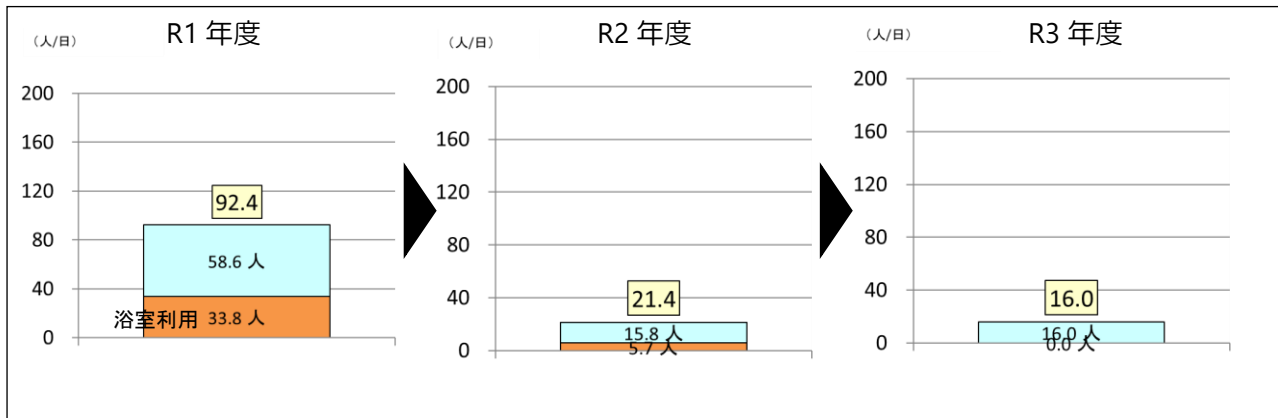
総合福祉センターの1日当たりの利用者数についても、令和2年度以降は約20人となっています。なお、福祉センターの浴場については令和2年度をもって閉鎖しています。

図表 利用者の年間推移



図表 1日当たりの利用者数

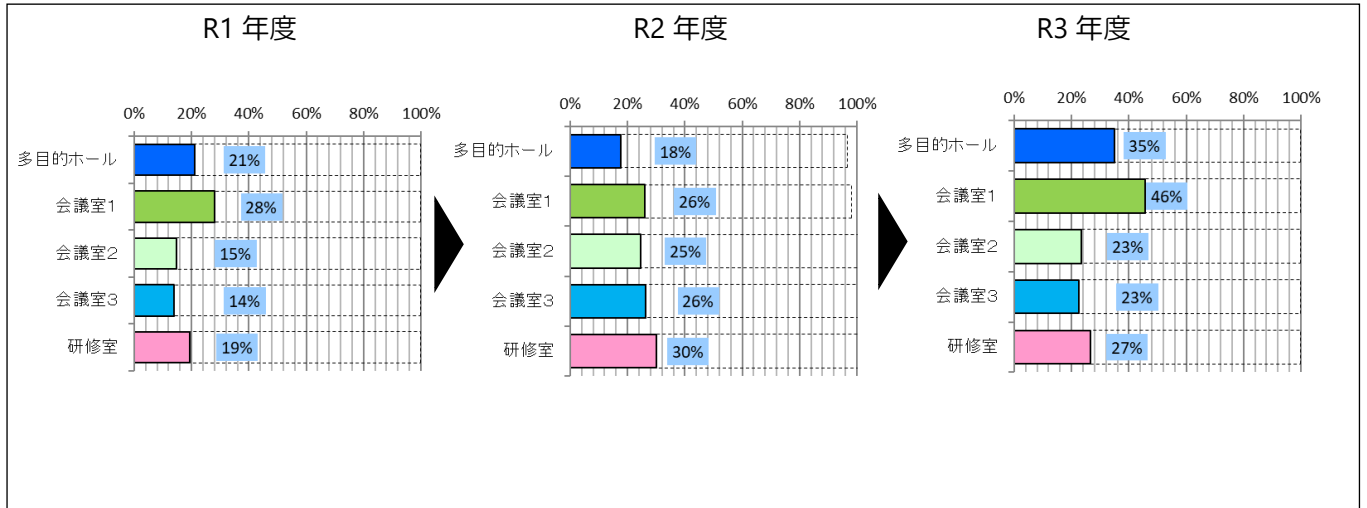
※利用者数÷運営日数で算出



■ 稼働率

総合福祉センターの多目的ホール、会議室1の稼働率は若干高くなりましたが、それでも他の会議室は約25%であり、稼働率は低い状況にあります。

図表 総合福祉センターの部屋別稼働率

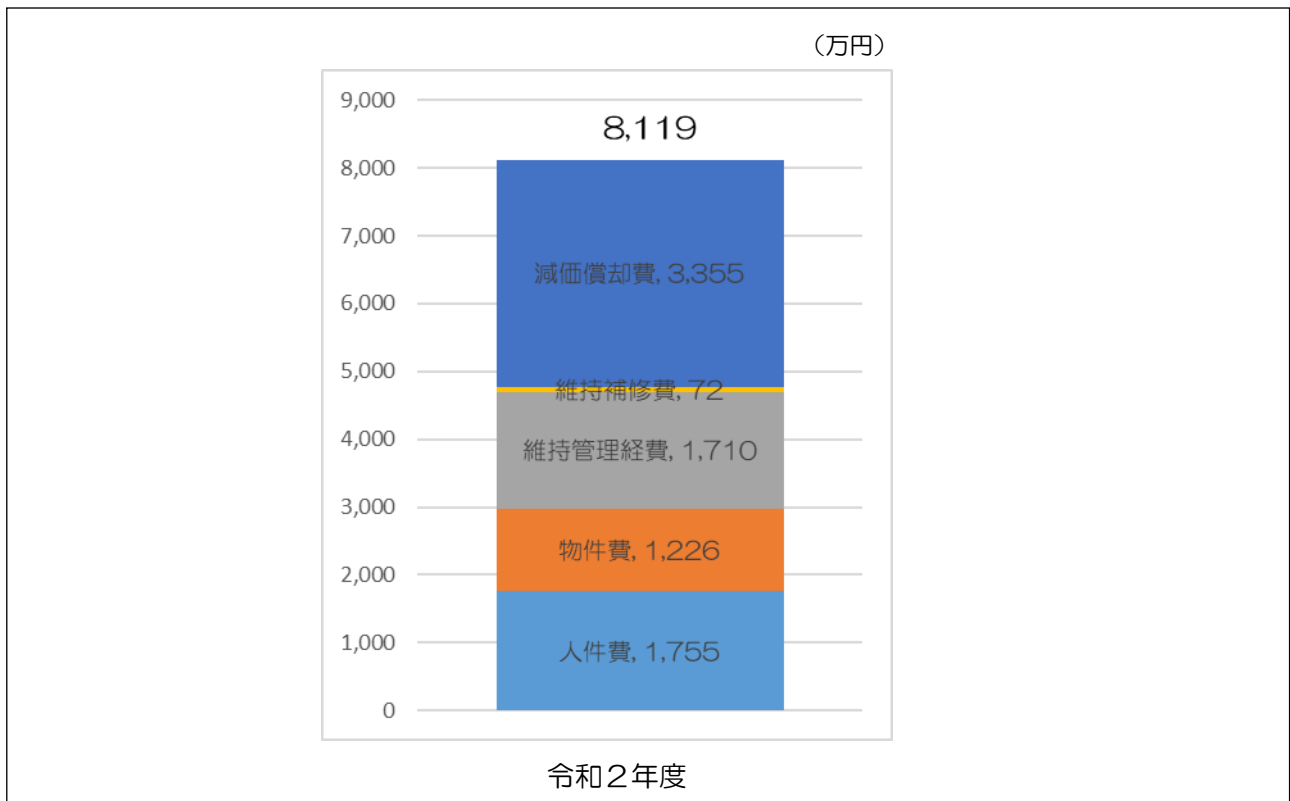


③ コスト状況

■ 総合福祉センタートータルコスト

総合福祉センターのトータルコストは、8,119万円となっています。

図表 総合福祉センタートータルコスト



(4) 体育施設

① 対象施設一覧

スポーツ施設として、4施設保有しています。

保有機能をみると、競技場等の屋内施設の高萩市民体育館があり、その他3施設はグラウンド等の屋外施設となっています。

図表 施設一覧

地域				施設名称	建築年度 (年度)	敷地面積	延床面積 (㎡)	保有機能						
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域					競技場 (体育館)	柔道場 剣道場	多目的 グラウンド	野球場 (公式)	テニス コート	ゲート ボール場	
		●		サンスポーツランド高萩	2003	31,195 ㎡	199 ㎡			● (照明無)				●
●				高萩市民体育館	1975	2,740 ㎡	1,997 ㎡	●	●					
●				高萩市民球場	1972	31,296 ㎡	1,263 ㎡				●			
●				高浜スポーツ広場	1977	23,736 ㎡	868 ㎡			● (照明有)		● (照明有)		
						88,967 ㎡	4,327 ㎡	1施設	1施設	2施設	1施設	1施設	1施設	

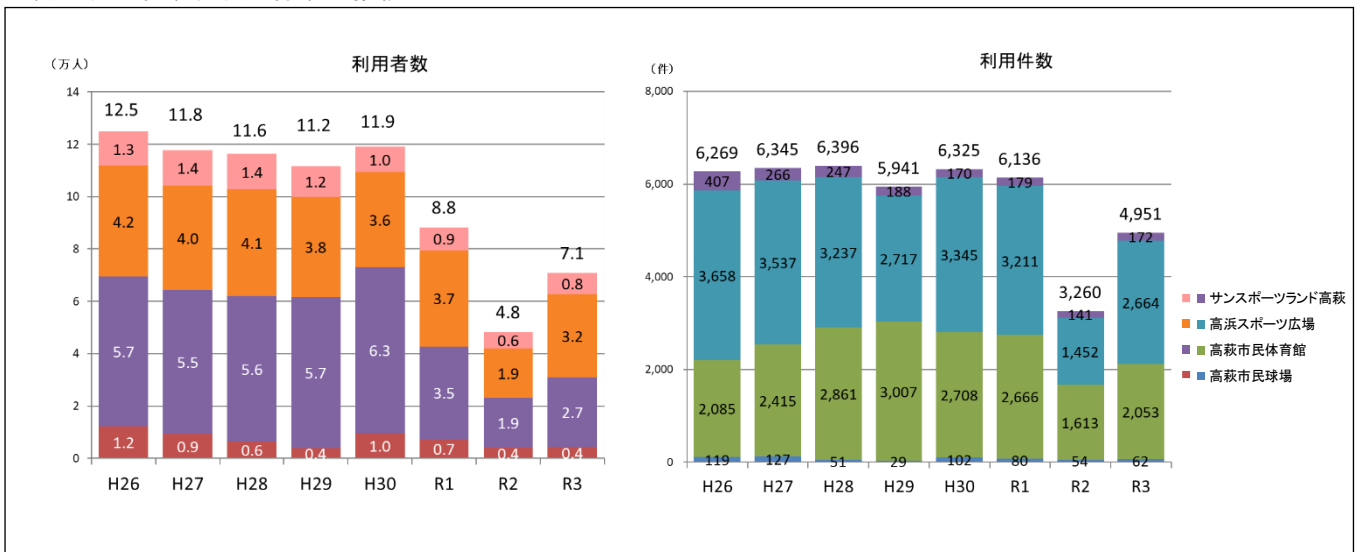
② 利用状況 C 評価

■ 利用者数、利用件数の推移

スポーツ施設の利用者数は、令和元年度以降 10 万人以下となり、令和2年度は5万人以下となりました。

年間利用件数は、約 6,000 件~6,300 件で推移してきましたが、令和2年度以降 5,000 件を下回っています。

図表 利用者数、利用件数の推移

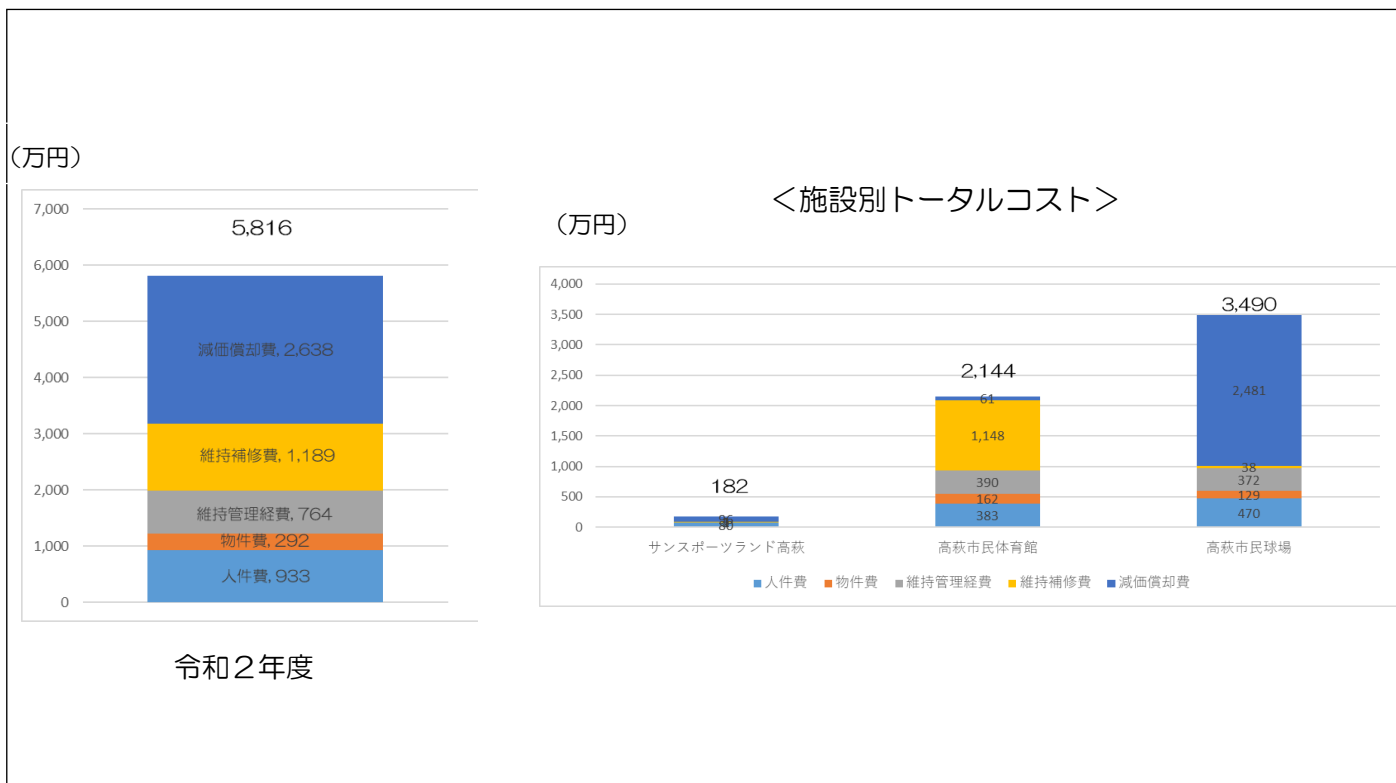


③ コスト状況

■ 体育施設トータルコスト

体育施設3施設のトータルコストは、5,816 万円です。施設別では、高萩市民球場の3,490 万円が最も多くを占めています。

図表 体育施設トータルコスト



(5) 市営住宅

① 対象施設一覧

市営住宅は、7施設40棟640戸保有しています。

図表 施設一覧

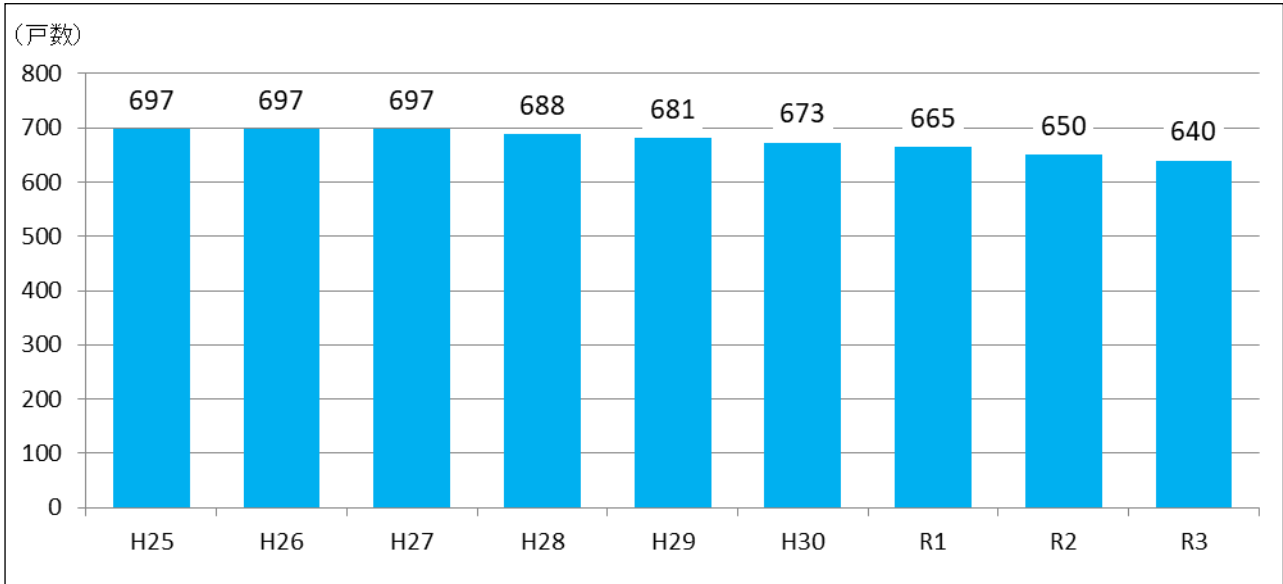
地域				施設名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度 (年度)	構造	階数	戸数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域								
●				1 高浜住宅 1号棟	高萩市高浜町3-103	1,734	1984	RC	4・5F	24	
●				2 高浜住宅 2号棟		2,168	1986	RC	4・5F	30	
●				3 高浜住宅 3号棟		2,020	1983	RC	4・5F	30	
●				4 高浜住宅 4号棟		2,168	1985	RC	4・5F	30	
●				5 高浜住宅 5号棟		1,446	1983	RC	4・5F	20	
●				6 高浜住宅 6号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				7 高浜住宅 7号棟		1,930	1981	RC	4・5F	30	
●				8 高浜住宅 8号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				9 高浜住宅 9号棟		2,149	1981	RC	4・5F	30	
●				10 高浜住宅 10号棟		2,020	1988	RC	4・5F	30	
●				11 高浜住宅 11号棟		2,168	1989	RC	4・5F	30	
●				1 高浜第二住宅 12号棟	高萩市 高浜町2-2	1,159	1983	RC	3・4F	16	
●				2 高浜第二住宅 13号棟		869	1984	RC	3・4F	12	
●				3 高浜第二住宅 14号棟		812	1986	RC	3・4F	12	
●				4 高浜第二住宅 15号棟		869	1987	RC	3・4F	12	
●				1 花貫住宅 1号棟	高萩市高浜町3-162-1	1,400	1994	RC	3～5F	18	
●				2 花貫住宅 2号棟		842	1994	RC	3～5F	11	
●				3 花貫住宅 3号棟		1,285	1994	RC	3～5F	16	
●				4 花貫住宅 4号棟		843	1995	RC	3～5F	11	
●				5 花貫住宅 5号棟		970	1995	RC	3～5F	12	
●				6 花貫住宅 6号棟		1,009	2004	RC	3～5F	11	
●				7 花貫住宅 7号棟		1,030	1997	RC	3～5F	12	
●				8 花貫住宅 A棟		323	1973	RC	3～5F	6	
●				9 花貫住宅 B棟		323	1973	RC	3～5F	6	
●				10 花貫住宅 C棟		920	1974	RC	3～5F	16	
●				1 石滝住宅 1号棟	高萩市石滝2612	936	1975	RC	4・5F	16	
●				2 石滝住宅 2号棟		1,170	1976	RC	4・5F	20	
●				3 石滝住宅 3号棟		1,170	1977	RC	4・5F	20	
●				4 石滝住宅 4号棟		1,170	1979	RC	4・5F	20	
●				1 萩ヶ丘住宅 1～5号室	高萩市高萩761	170	1968	RC	簡平・簡二	5	廃止
●				2 萩ヶ丘住宅 11～15号室		170	1968	RC	簡平・簡二	5	
●				萩ヶ丘住宅 16～20号室			1969	RC	簡平・簡二		廃止
●				3 萩ヶ丘住宅 21～25号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	廃止
●				4 萩ヶ丘住宅 26～30号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	廃止
●				5 萩ヶ丘住宅 31～35号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	廃止
●				6 萩ヶ丘住宅 36～40号室		170	1966	RC	簡平・簡二	5	
●				7 萩ヶ丘住宅 41～48号室		369	1972	RC	簡平・簡二	8	
●				8 萩ヶ丘住宅 49～56号室	342	1972	RC	簡平・簡二	8		
●				1 坂東塚住宅 1～4.6号室	高萩市高萩761-4	237	1971	RC	簡二	5	廃止
●				2 坂東塚住宅 7～13号室		277	1971	RC	簡二	7	
●				坂東塚住宅 14～20号室			1971	RC	簡二	0	廃止
●				坂東塚住宅 21～28号室			1970	RC	簡二	8	廃止
●				坂東塚住宅 29～36号室			1972	RC	簡二	0	廃止
●				坂東塚住宅 37～40号室			1972	RC	簡二	0	廃止
●				3 坂東塚住宅 41～42号室		92	1970	RC	簡二	2	
●				4 坂東塚住宅 43～44号室	85	1972	RC	簡二	2		
	●			1 手綱住宅北 1号棟(災害)	高萩市上手綱1217-3	562	2014	RC	3・4F	6	
	●			2 手綱住宅北 2号棟		680	2009	RC	3・4F	8	
	●			3 手綱住宅北 3号棟		738	2008	RC	3・4F	8	
	●			4 手綱住宅北 4号棟(災害)		1,826	2014	RC	3・4F	20	

② 利用状況 C 評価

■ 管理戸数の推移

市営住宅の管理戸数は、令和元年度 665 戸から令和3年度 640 戸と、微減傾向となっています。

図表 管理戸数の推移

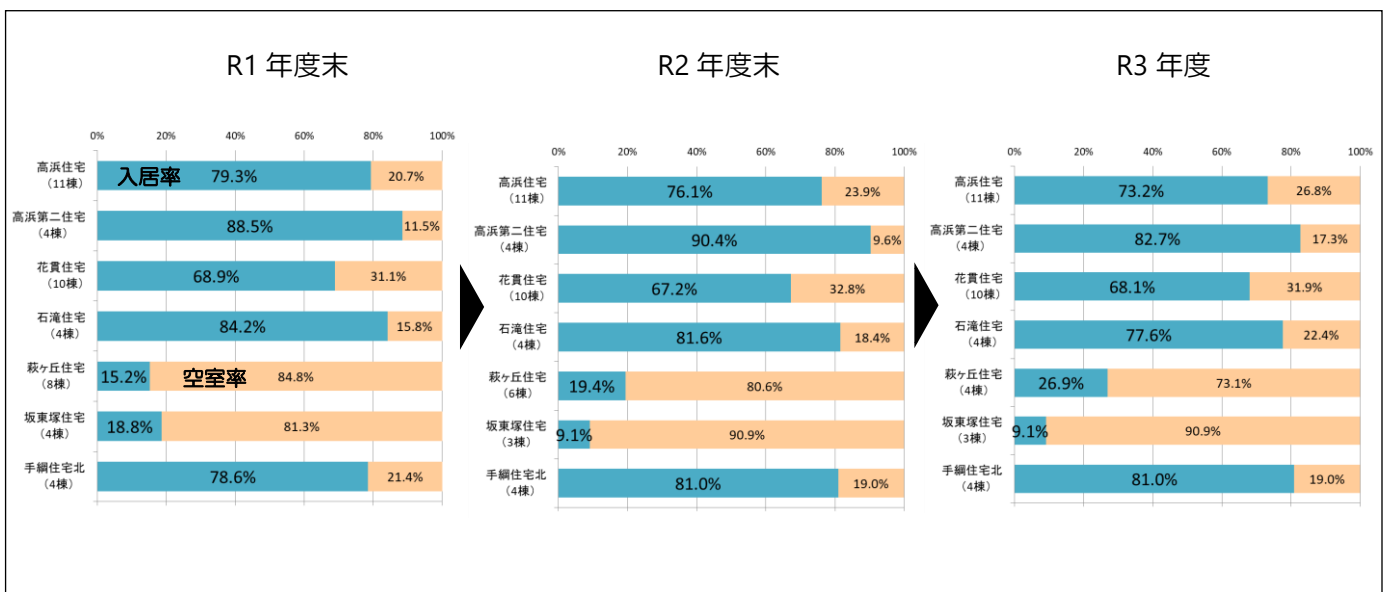


■ 入居率 (各年度末時点)

全体的な入居率は低下していますが、住替えの促進とあわせて解体も進めているため、萩ヶ丘住宅の入居率は高くなっています。また、花貫住宅 A~C 棟についても、令和2年度から住替えを促進しています。

(現在の住替え対象住宅…萩ヶ丘住宅、坂東塚住宅、花貫住宅 A~C 棟)

図表 入居率の比較

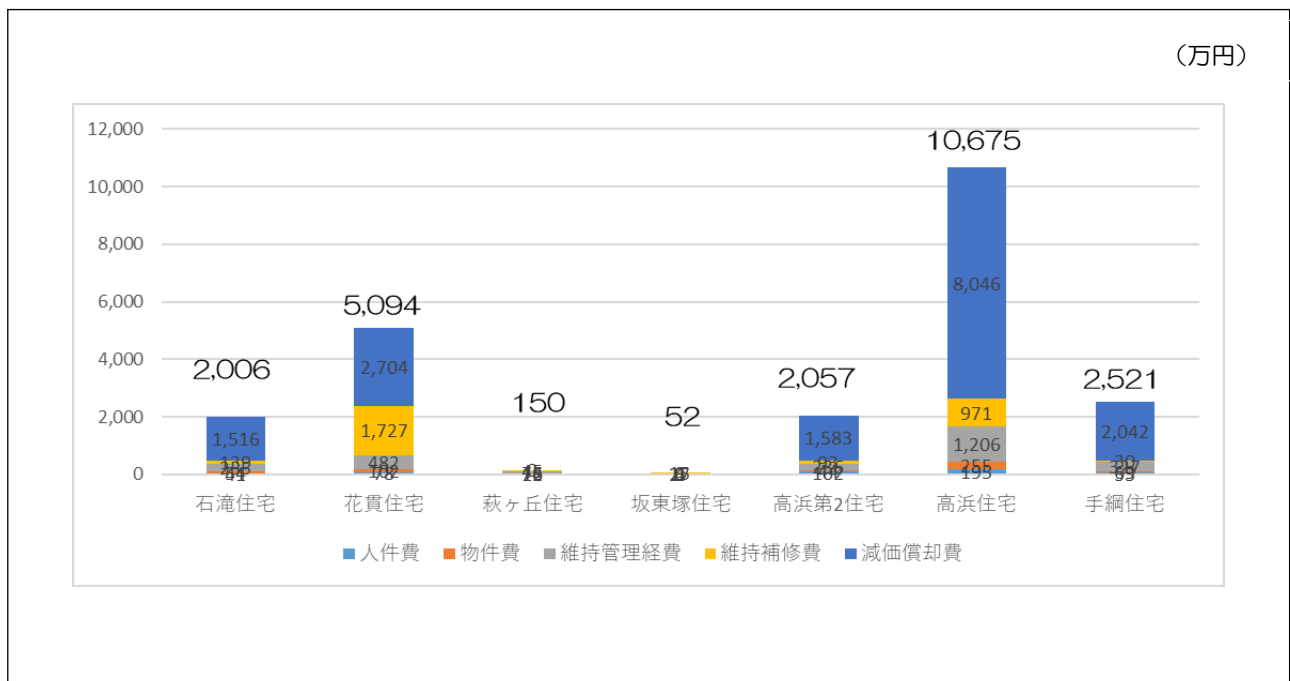
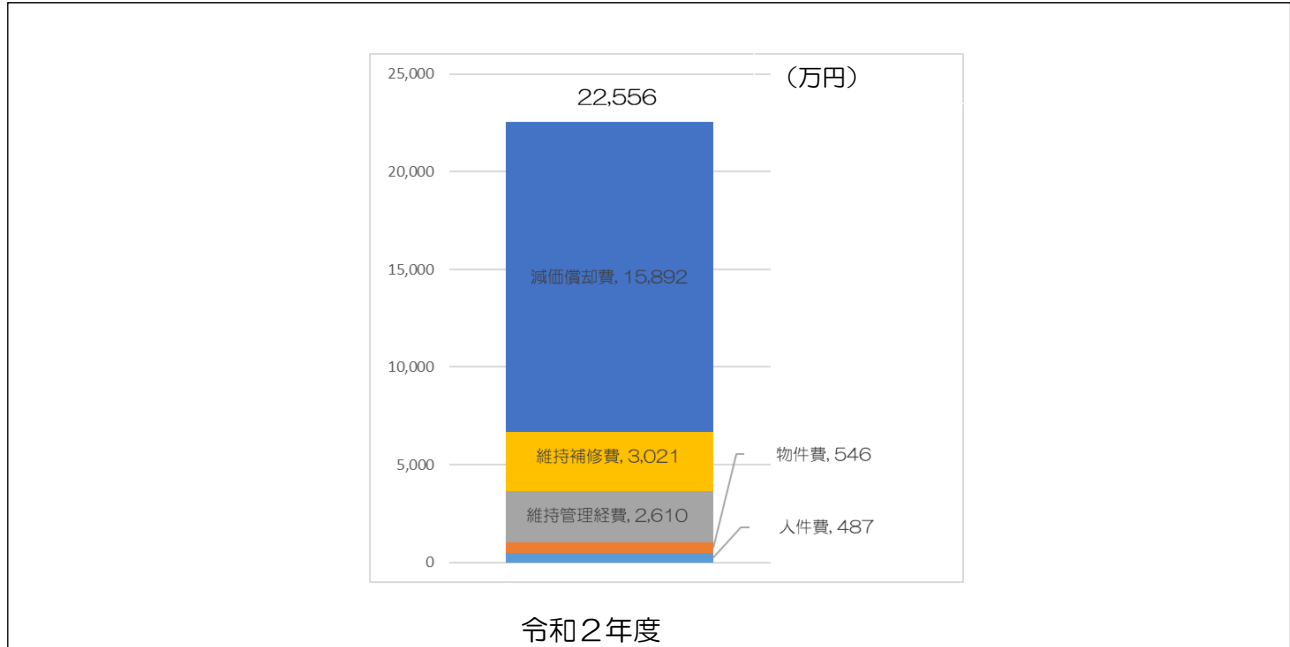


③ コスト状況

■ 市営住宅トータルコスト

市営住宅7施設のトータルコストは、2億2,556万円です。

図表 市営住宅トータルコスト



(6) 学校施設

① 対象施設一覧

学校施設として、小学校4校、中学校3校、合計7校を保有しています。

図表 学校施設一覧（令和3年5月1日現在）

地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常学級	特別 支援	
●				小学校	1 高萩小学校	高萩市安良川1048	6,594	1969	309	15	12	3
	●				2 秋山小学校	高萩市島名2161-1	5,601	1982	296	14	12	3
●					3 東小学校	高萩市有明町1-141	7,124	1973	166	12	6	2
		●			4 松岡小学校	高萩市下手綱43	5,458	2010	321	23	12	4
小学校計						24,776		1,092	64	42	12	
●				中学校	1 高萩中学校	高萩市高浜町1-77	8,759	1975	255	10	8	2
	●				2 秋山中学校	高萩市高萩273	6,980	1992	151	8	6	2
		●			3 松岡中学校	高萩市下手綱4	4,043	1985	161	10	6	2
中学校計						19,782		567	28	20	6	
学校施設合計						44,558		1,659	92	62	18	

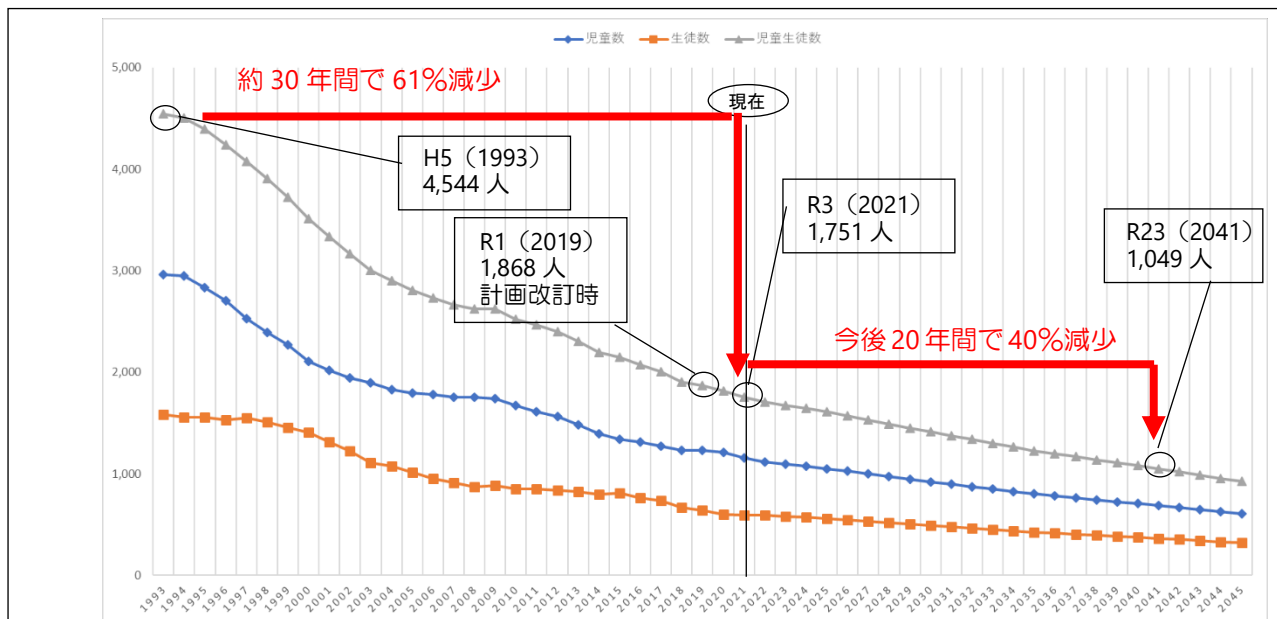
※「建築年度」は、校舎棟（又は特別教室棟など主要棟）で最も古い建築年度を記載

② 利用状況 C 評価

■ 児童生徒数の推移

児童生徒数は、平成5年度 4,544 人から減少傾向が続いており、令和3年度時点で 1,751 人であり、平成5年度比約 39%まで減少しています。20年後の令和23年度には 1,049 人と、現在からさらに約 40%減少する予測となっています。

図表 児童生徒数推移

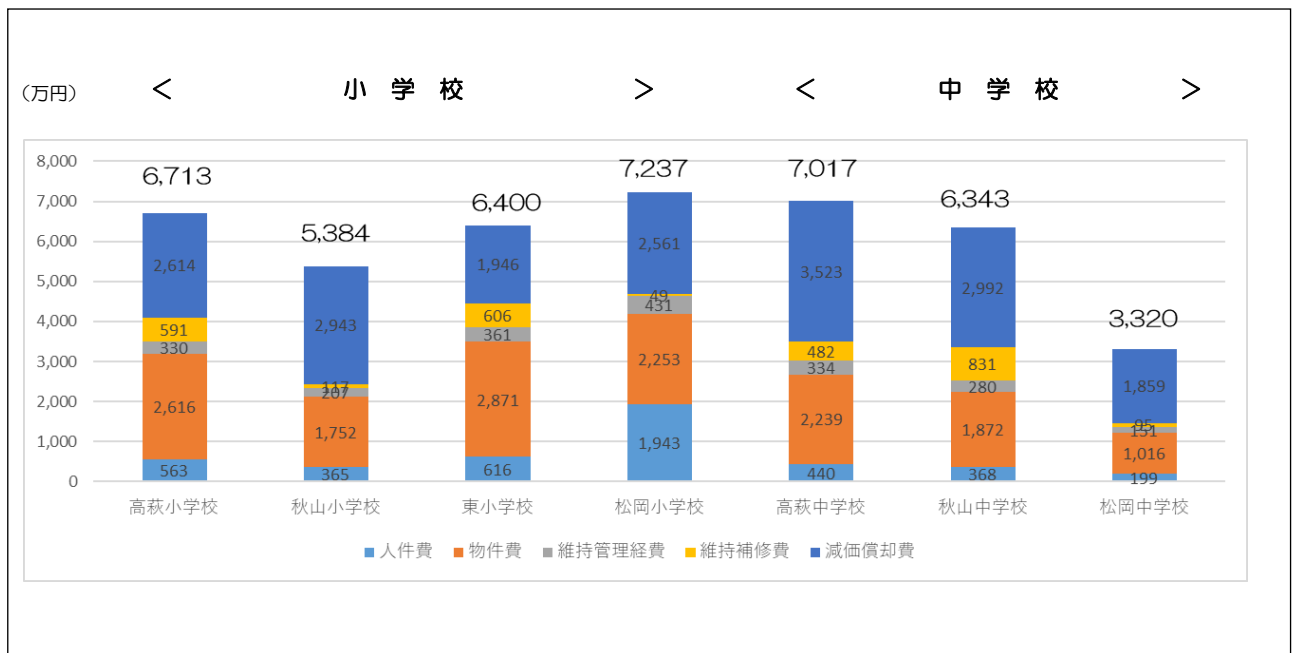
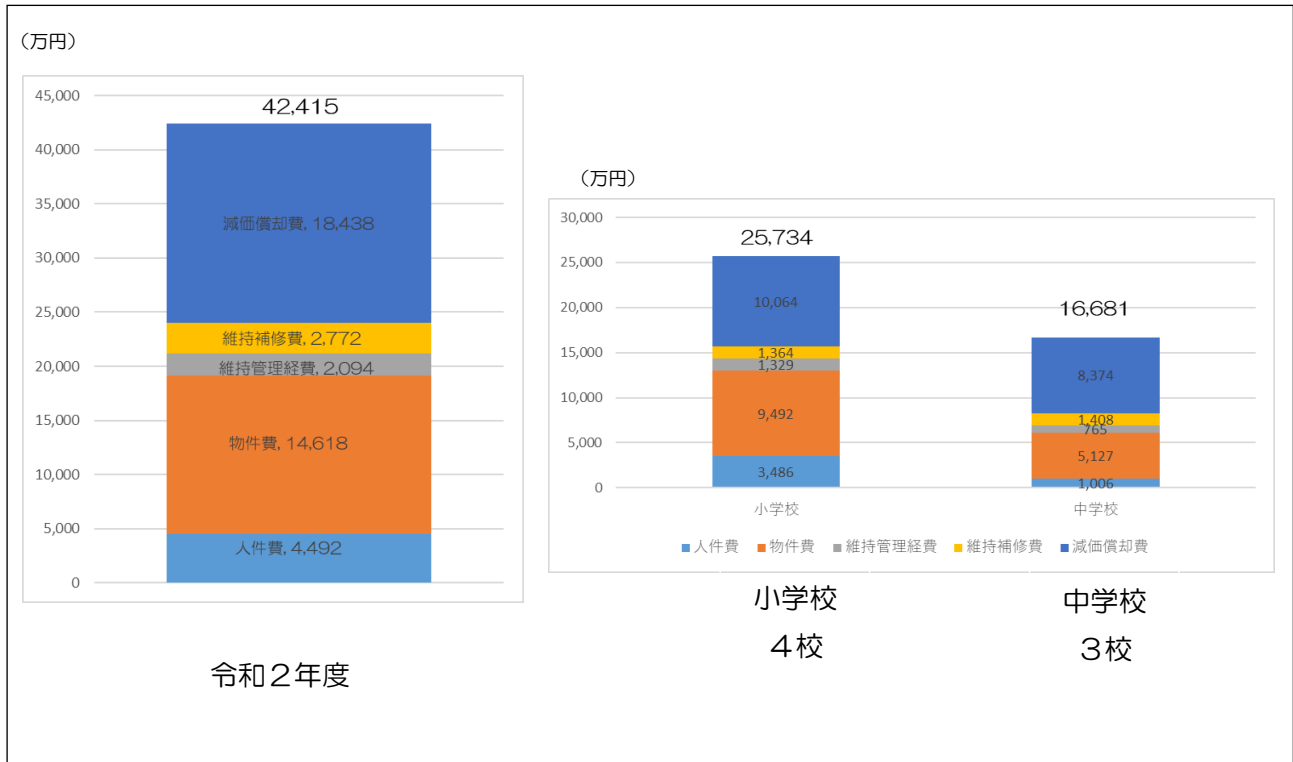


③ コスト状況

■ 学校施設トータルコスト

小学校4校のトータルコストは、2億 5,734 万円で、中学校3校のトータルコストは、1億 6,681 万円です。

図表 トータルコスト



(7) 保育所・幼稚園

① 対象施設一覧

管理計画改訂時には、保育所・幼稚園として、保育所1施設、幼稚園4園を保有していましたが、令和2年度に第一幼稚園の園舎を解体し、以降は第一幼稚園、東幼稚園ともに、東小学校校舎内で運営していました。

令和3年度には幼保一元化施設を整備し、令和4年度から高萩保育所、第一幼稚園、東幼稚園を統合し、たかはぎ認定こども園が開園しています。

図表 保育所・幼稚園施設一覧（令和3年度末時点）

	地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築年度	構造	階数	運営	備考
	高萩地域	秋山地域	松岡地域	高岡地域								
保育所	●				高萩保育所	高萩市本町3-118	510	1978	S	1F	市直営	閉所
幼稚園	●				第一幼稚園	高萩市本町4-5	665	1978	S	1F	市直営	R2年度建物解体 幼稚園運営は東小学校内
			●		松岡幼稚園	高萩市下手綱34	508	1987	W	1F	市直営	
	●				東幼稚園	高萩市有明町1-141	526	1971	S	1F	市直営	建物現存 幼稚園運営は東小学校内
		●			秋山幼稚園	高萩市島名2230	588	1982	S	1F	市直営	
幼保一元	●				たかはぎ認定こども園	高萩市本町4-5	1,291	2021	W	1F	市直営	開園はR4

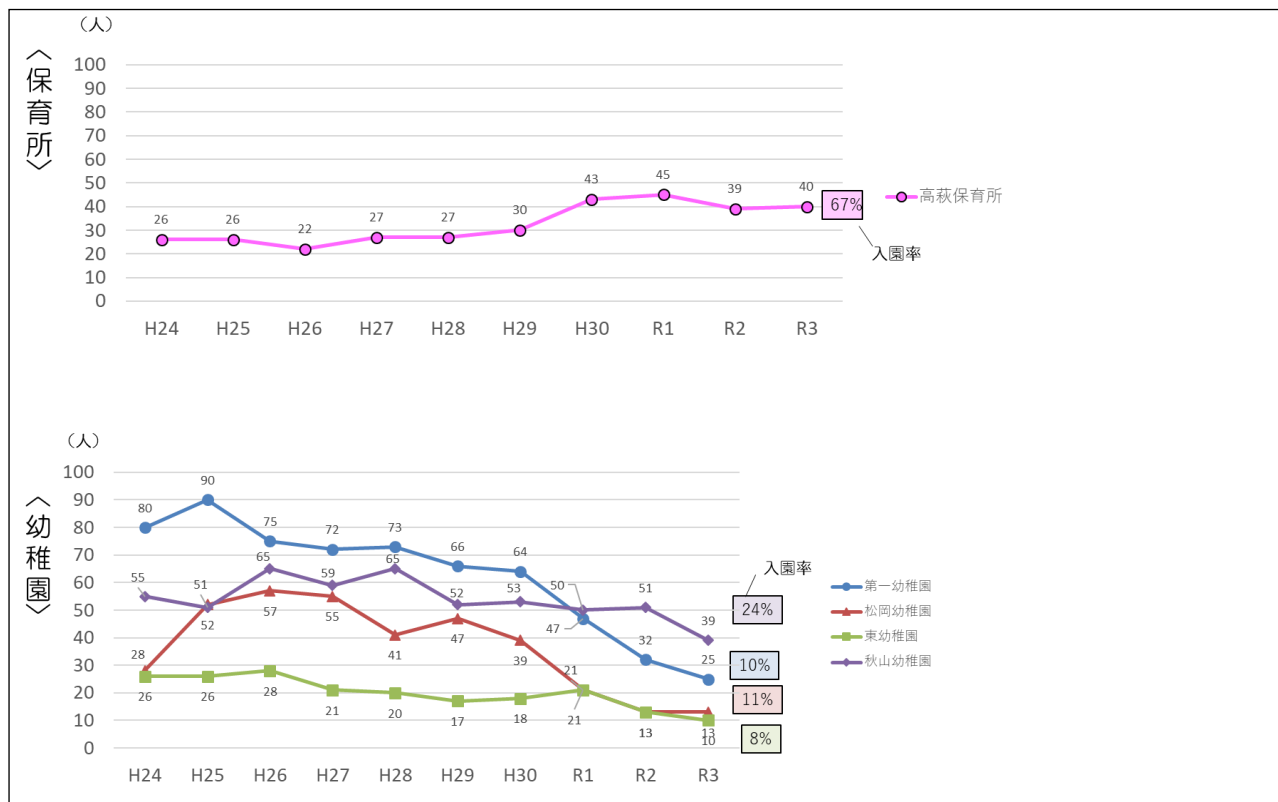
② 利用状況 C 評価

■ 園児数の推移

保育所の園児数は、平成30年度以降40人前後で推移しており、令和3年度の入園率は67%となっています。

幼稚園の園児数は各園とも減少傾向にあり、入園率もすべての施設で30%以下となっています。

図表 園児数の推移



③ コスト状況

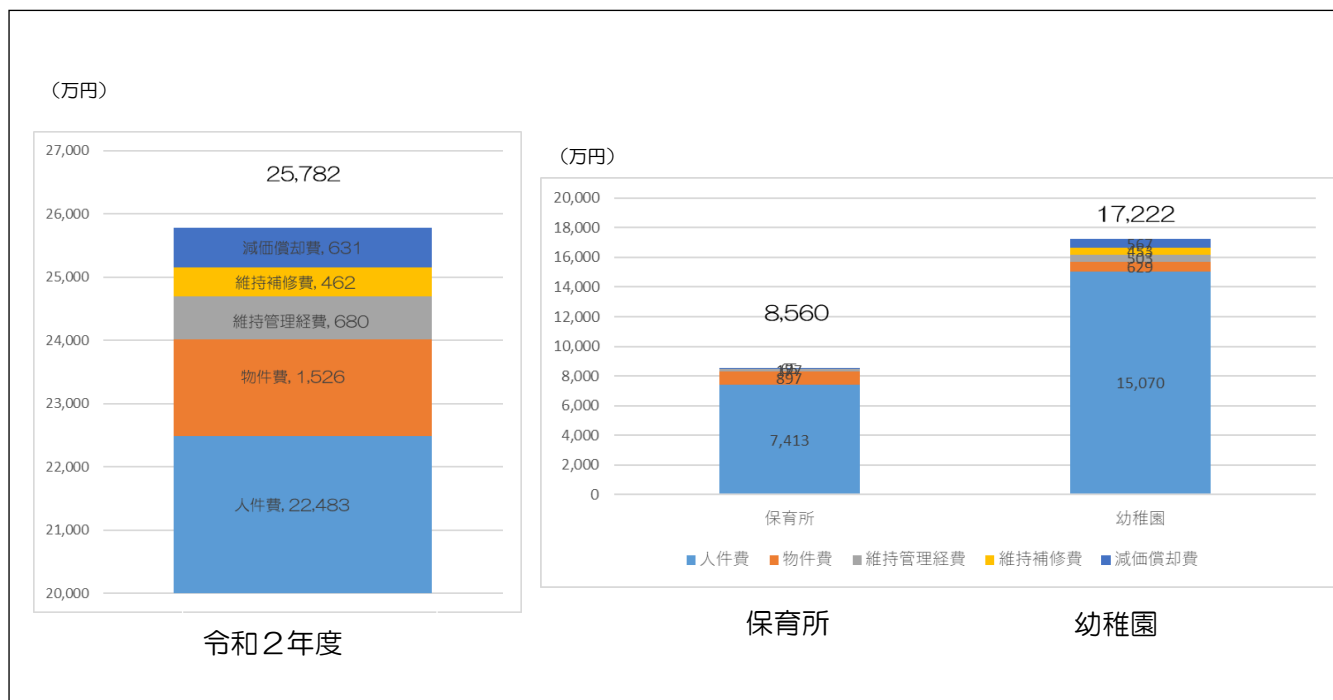
■ 保育所・幼稚園トータルコスト

高萩保育所のトータルコストは、8,560万円です。

幼稚園4園のトータルコストは、1億7,222万円です。

いずれの施設も、コストの大半を人件費が占めています。

図表 トータルコスト



(8) 図書館

① 対象施設一覧

図書館施設として、1施設保有しています。

図表 施設一覧（令和3年度時点）

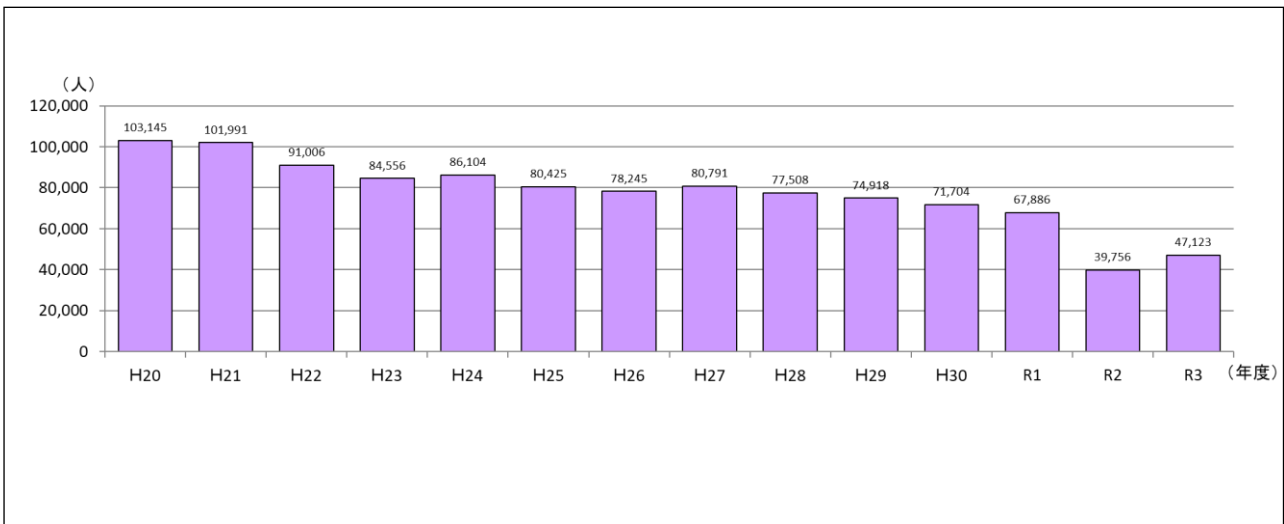
地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				高萩市立図書館	高萩市高萩8-1	1,313	1983	RC	2F	

② 利用状況 評価

■ 入館者数の推移

入館者数は、平成20年度約10.3万人から減少傾向にあり、令和2年度以降は5万人を下回っています。

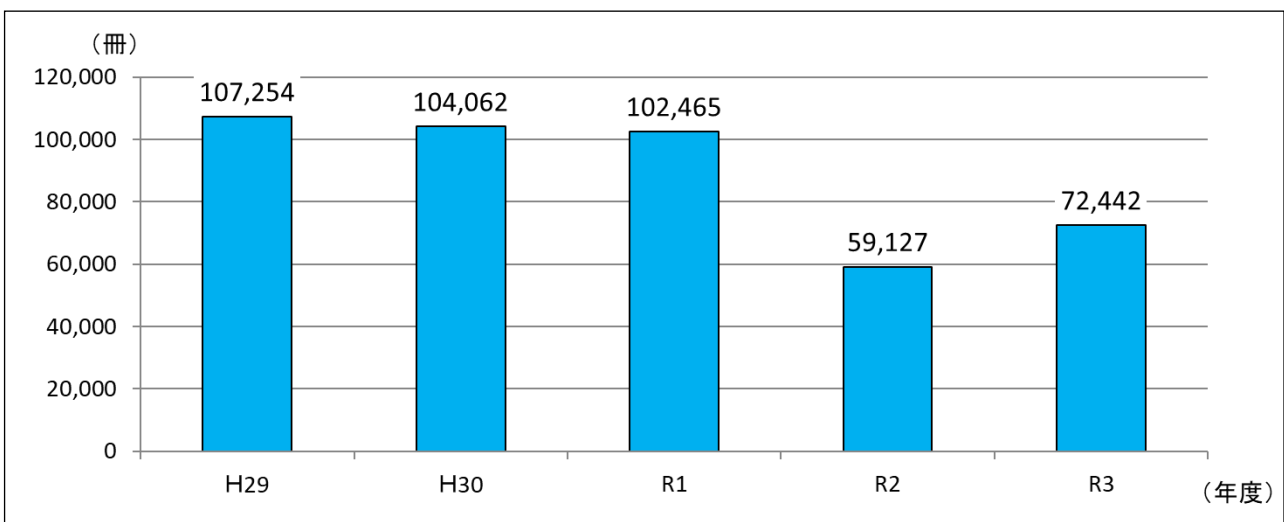
図表 入館者数の推移



■ 貸出冊数の推移

令和元年度まで、年10万冊程度で推移していましたが、令和2年度は6万冊を下回り、令和3年度についても10万冊を下回っています。

図表 貸出冊数の推移

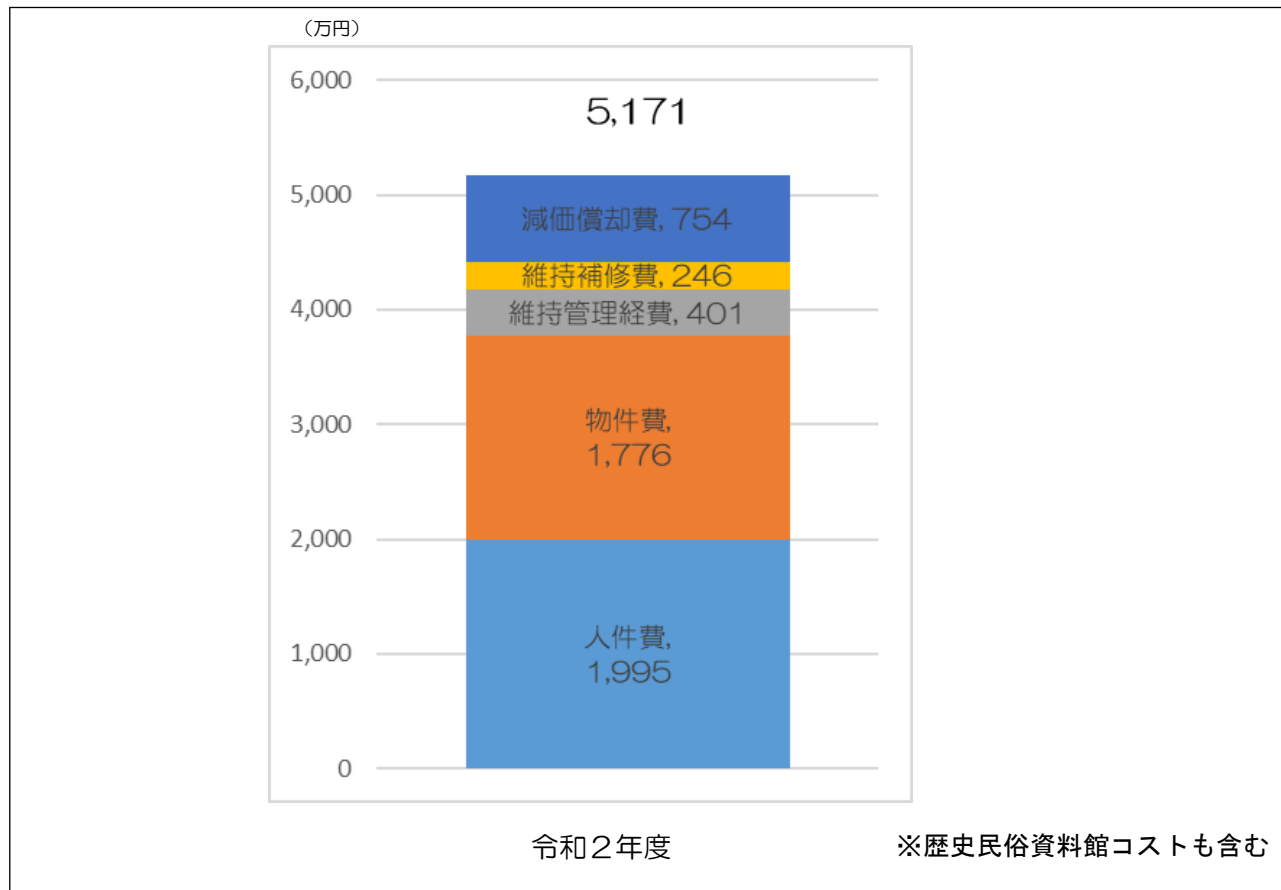


③ コスト状況

■ 図書館トータルコスト

図書館のトータルコストは、5,171 万円となっています。

図表 図書館トータルコスト



(9) 環境衛生施設

① 対象施設一覧

環境衛生施設として、リサイクルセンター、斎場、花貫クリーンセンターの3施設保有しています。

図表 施設一覧（令和3年度時点）

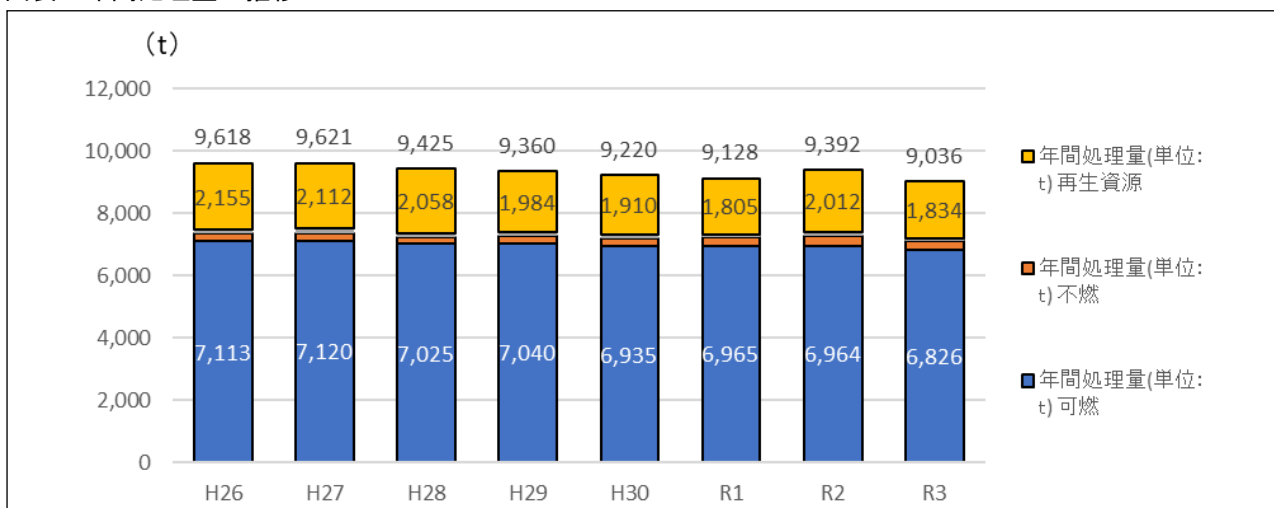
地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
		●		高萩市リサイクルセンター	高萩市大字赤浜2100-15	1,448	2011	S	2F	
●				高萩市斎場	高萩市安良川1332-1	1,151	1986	RC	1F	
●				高萩市花貫クリーンセンター	高萩市大字安良川505	1,970	1993	RC	2F	

② 利用状況 B評価

■ リサイクルセンター

直近5年間の年間処理量は約9,000~9,300tで推移しており、可燃の処理量が毎年全体の75%程度を占めています。

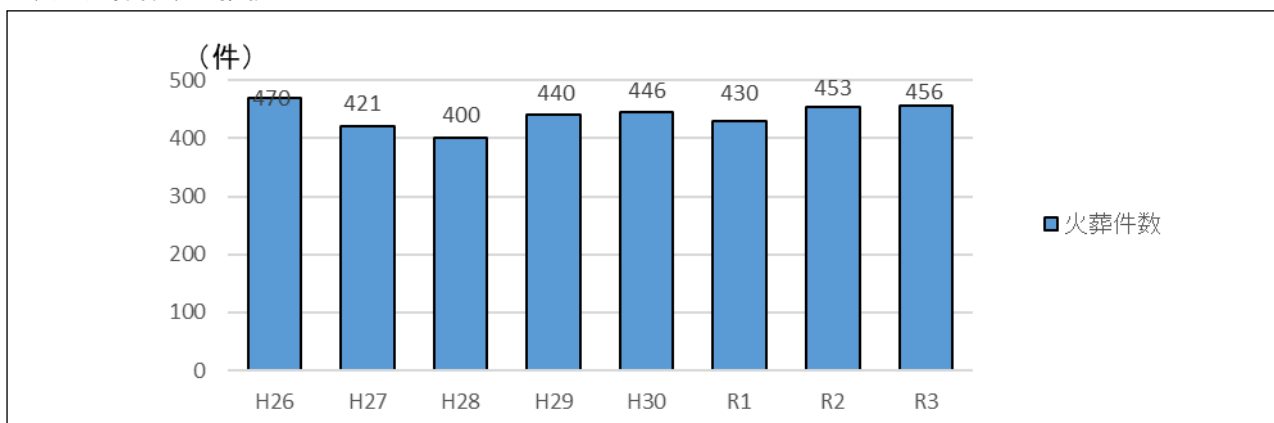
図表 年間処理量の推移



■ 斎場

直近5年間の年間火葬件数は、約430~460件で推移しており、年度により多少のばらつきはありますが、ほぼ横ばいとなっています。

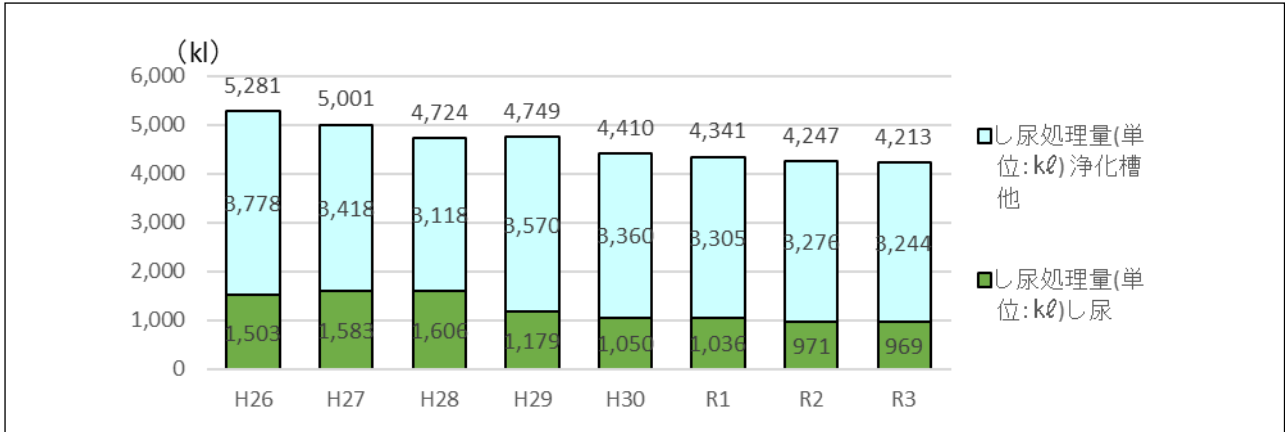
図表 火葬件数の推移



■ クリーンセンター

直近5年間の年間し尿処理量は約4,200 kl~4,700 klで推移しており、微減傾向となっています。

図表 し尿処理量の推移

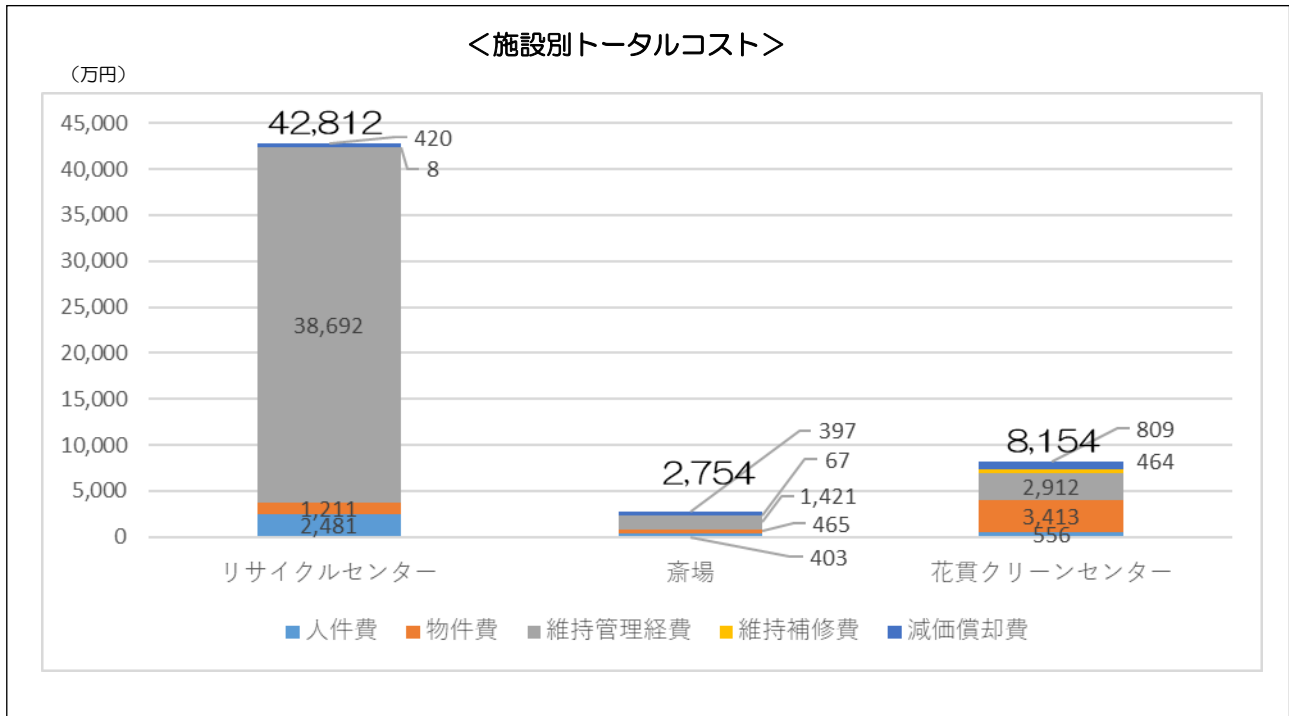


③ コスト状況

■ 環境衛生施設トータルコスト

施設別のトータルコストは、リサイクルセンターが4億2,812万円、斎場が2,754万円、クリーンセンターが8,154万円となっています。

図表 環境衛生施設トータルコスト (R2年度)



(10) 高萩市役所

① 対象施設一覧

本庁舎は、平成29年度新設の施設となっています。

図表 施設一覧（令和3年度時点）

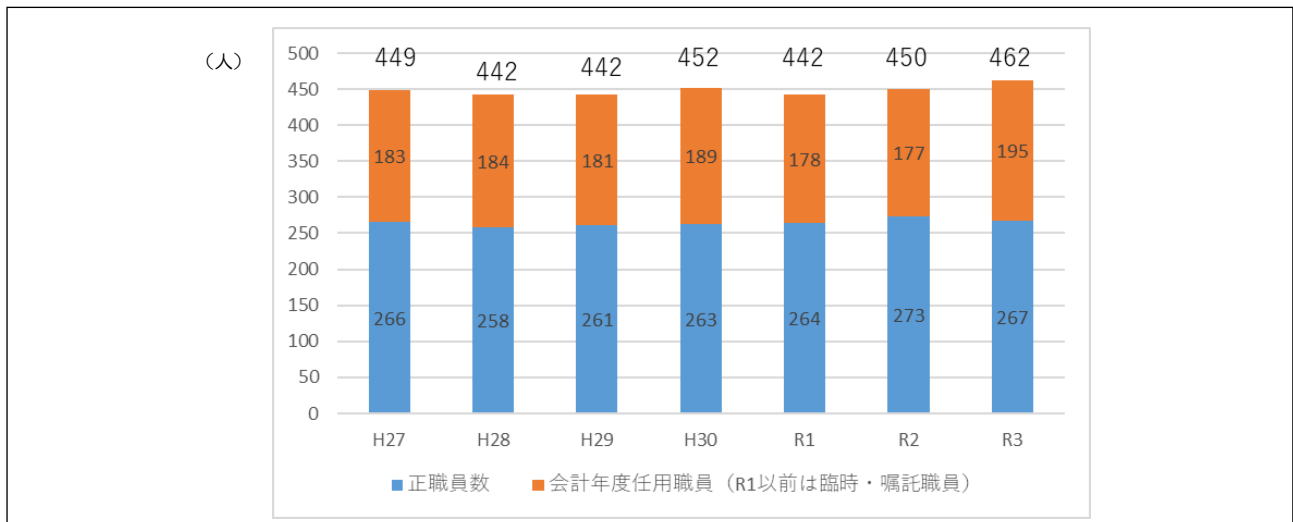
地域				名称	住所	延床面積 (㎡)	建築 年度	構造	階数	備考
高萩 地域	秋山 地域	松岡 地域	高岡 地域							
●				市役所	高萩市本町1丁目100-1	6,365	2017	RC	4F	

② 職員数推移

■ 本庁舎及び福祉センター職員

職員数は、正職員・会計年度任用職員あわせて450人前後で推移しています。

図表 職員数の推移

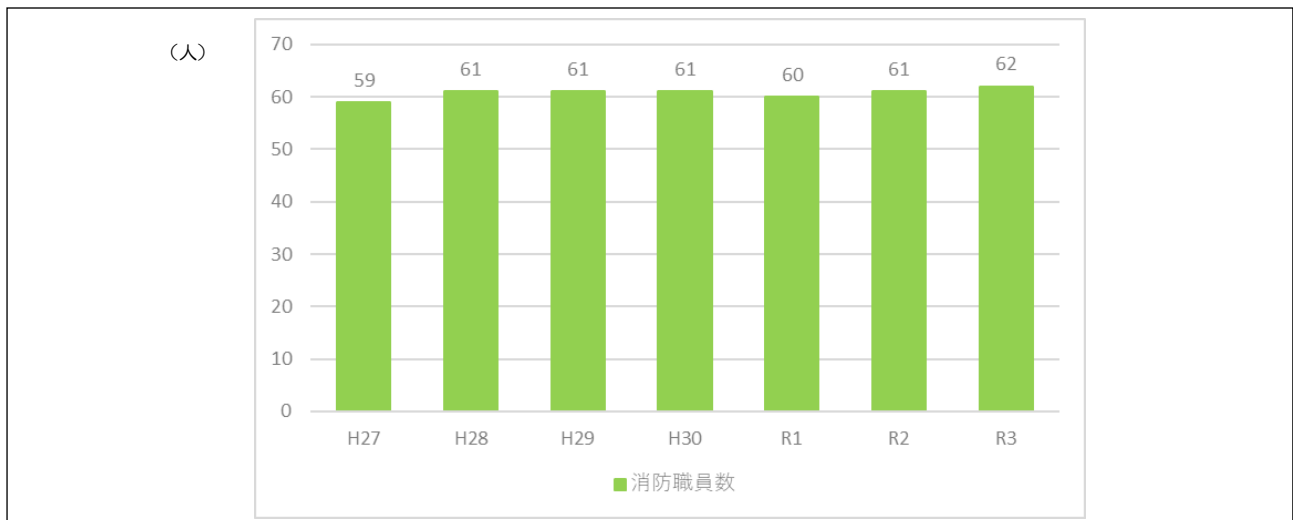


※本庁舎及び福祉センター等の職員含む

■ 消防職員

消防職員数は、60人前後で推移しています。

図表 消防職員数の推移



7 個別施設計画の進捗および現状について

ここでは、令和3年度までの取組実績と今後5年間の計画について整理します。

なお、個別施設計画を推進するうえで、今後必要になる費用を見込むため、令和5年度以降の費用についても記載がありますが、あくまで推計用の数値であり、予算措置を確約するものではありません。

また、築年数については、特段の指定がない限り、令和3年度時点における築年数が記載されています。

■ 公共施設

(1) 高萩市役所

① 現状と課題

- ・ 築4年であり、施設の不具合は生じていない。

② 施設類型の基本方針

- 各種点検を適宜実施し、長寿命化を図る。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
市役所本庁舎									
更衣室棟									

※特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

【計画を推進するための取組事業】

（今後の方向性）

2030年（令和12年）～2039年（令和21年）の期間内に中規模修繕予定。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

この期間は計画していた取組はなく、判定するものがないためD評価。

(2) その他文化・教育施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は3棟、築30年以上40年未満の棟は1棟である。
- ・ 文化会館は施設設備とも老朽化が進んでいる。また、歴史民俗資料館についても設備の老朽化が進んでいる。

■ 利用・運営状況

- ・ 施設数等に大きな変化はない。
- ・ 穂積家住宅は、一般開放・各種行事の場として活用している。
- ・ 文化会館では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業自粛により、利用者数は減少している。

また、リーベロたかはぎは比較的使用頻度は高いが、利用者数は減少傾向となっている。穂積家住宅、歴史民俗資料館についても、令和2年度以降3,000人以下で推移しており、減少傾向となっている。

- ・ 文化会館・リーベロたかはぎ・高浜スポーツ広場及び歴史民俗資料館は市の直営、穂積家住宅は管理をシルバー人材センターへ委託している。

② 施設類型の基本方針

- 将来的な集約・廃止を見据え、長寿命化改修は行わずに、耐用年数までは、消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 学校の小中一元化に合わせて、機能を集約する。
- 文化財については、計画的な修繕を適宜実施し管理する。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
文化会館			● 設計	● 中規模	● 中規模	消防設備等の改修			
			150,800	150,800					
リーベロたかはぎ									
高浜スポーツ広場 (旧勤労青少年ホーム)									
県指定文化財 穂積 家住宅									
歴史民俗資料館									

※高浜スポーツ広場は、2022年に特定建築物定期点検（1回/3年）を実施

【計画を推進するための取組事業】

(今後の方向性)

- 文化会館、歴史民俗資料館について、設備は部分修理で対応する。また、市民体育館とともに、学校施設再編に合わせて複合化を検討。
- リーベロたかはぎは、福祉センターと一体的な活用を検討。
- 高浜スポーツ広場は、部分補修で対応。
- 穂積家住宅は、適切な保存に努めるとともに、計画的な修理を実施。集客性や利便性の向上及び活用方法を検討。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

この期間は計画していた取組はなく、判定するものがないためD評価。

(3) 体育施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 施設の劣化が顕在化しており、老朽化が進行している。また、設備の老朽化がみられる施設もある。

■ 利用・運営状況

- ・ 施設数等は大きな変化がない。
- ・ 令和2年度に、利用者数、利用件数は減少したが、市民体育館、高浜スポーツ広場は令和3年度には回復傾向となっている。
- ・ 施設は市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 各種点検や計画的な修繕を適宜実施し、長寿命化を図る。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
サンスポーツランド 高萩									
高萩市民体育館 （※1）	中規模 10,215			設計	中規模 9,885	20LED照明改修 20換気設備改修			
高萩市民球場									
高浜スポーツ広場 （※2）									

※1 2022年に特定建築物定期点検（1回/3年）を実施

※2 建屋の修繕計画は、「(2) その他文化・教育施設」の高浜スポーツ広場（旧勤労青少年ホーム）で記載

【計画を推進するための取組事業】

（今後の方向性）

- ・ 市民体育館は、文化会館、歴史民俗資料館とともに、学校施設再編に合わせて複合化を検討。
- ・ サンスポーツランド高萩、高浜スポーツ広場は、石滝サッカー場を補完する施設として利活用を検討。
- ・ 設備は、部分修理で対応。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

この期間は計画していた取組はなく、判定するものがないためD評価。

(4) 図書館

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築38年経過しているが、建物は比較的良好な状態にある。
- ・ 設備は老朽化が進行している。

■ 利用・運営状況

- ・ 入館者数は、令和2年度に減少したが、令和3年度には回復傾向となっている。
- ・ 令和元年度まで、年10万冊程度で推移していましたが、令和2年度は6万冊を下回り、令和3年度についても10万冊を下回っています。
- ・ 市の直営となっている。
- ・ 令和3年10月 電子図書を導入(2,770タイトル)
- ・ 令和5年 2月 いつでも読める50冊導入(児童書)学校の朝読に活用

② 施設類型の基本方針

- 学校の小中一元化に合わせて、他の公共施設へ機能を移転する。

③ 個別施設ごとの実績(2021(令和3)年度まで)と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用(千円)

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績(見込)	計画	計画		計画	計画	計画
高萩市立図書館	中規模	中規模			設計	20LED照明改修 20-21トイレ改修 空調設備改修等	中規模		
	4,694	4,350			3,551		131,300		

【計画を推進するための取組事業】

(達成した取組)

- ・ 令和2年度、令和3年度に中規模修繕実施。

(今後の方向性)

- ・ 設備の老朽化は、部分修理で対応。
- ・ 学校施設再編に合わせて複合化を検討。

④ 実績(2021(令和3)年度まで)と計画の整合性

計画どおり達成したためA評価。

(5) 福祉施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 総合福祉センターは、築 21 年と比較的新しい施設であるが、各所に修繕箇所が増えて
いる。また、各種設備についても更新時期を迎えている。

■ 利用・運営状況

- ・ コロナ禍の影響で利用制限を行ったこと等により利用状況が低下した。
- ・ 多目的ホールの稼働率は 35%、会議室及び研修室は 23%~46%となっている。
- ・ 市及び社会福祉協議会、高萩市シルバー人材センターの事務所をかねている。
- ・ 総合福祉センターは市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 各種点検や計画的な修繕を適宜実施し、長寿命化を図る。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和 3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
総合福祉センター	設計	中規模	中規模	集約化	中規模		中規模	中規模	中規模
	69,868	97,998	27,437	45,588	58,358		81,437	15,334	10,000
総合福祉センター (車庫棟)									

※特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

【計画を推進するための取組事業】

（達成した取組）

- ・ 空調設備改修事業
- ・ 自動火災報知設備改修工事
- ・ 特定建築物等定期点検（3年毎）
- ・ 消防設備点検
- ・ その他必要に応じ館内の修繕を実施
(設備の定期点検を行い状況が把握できているため)
- ・ 車庫棟の目視による点検（点検の結果、大きな異常が見られなかった）。

（今後の方向性）

- ・ 今後も、設備などの定期点検を行うとともに、日常的な目視点検などで、的確な施設状況を把握し、計画的な修繕に努めていく。
- ・ 令和6年度から開始予定の公民館機能の集約化についても、関係各課と連携しながら準備し、滞りないよう進めていく。

- 車庫棟については、今後建物の状況を見て、適宜修繕を行う。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性
計画どおり達成したため A 評価。

(6) 市営住宅

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 市が保有する築30年以上の施設のうち、約37%が市営住宅と、公共施設の中で最も老朽化が進行している。
- ・ 築40年以上の棟は19棟(約41%)で、大半の建物で劣化が顕在化しているが、良好な建物も5棟あり改修が行われている。

■ 利用・運営状況

- ・ 萩ヶ丘住宅5棟、坂東塚住宅5棟が廃止となっている。
- ・ 人口減少により全体的に入居率は低下している。
- ・ 市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設から廃止する。
- 民営化や民間住宅の借上げ方式への転換等により施設総量を圧縮する。
- 経過年数に限定せず、維持管理費とのバランスに留意して施設廃止を検討する。
- 施設敷地の維持管理等を考慮し、団地単位での廃止を原則とする。

③ 個別施設ごとの実績(2021(令和3)年度まで)と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用(千円)

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績(見込)	計画	計画		計画	計画	計画
高浜住宅1号棟							設計	長寿命化	長寿命化
								35,000	
高浜住宅2号棟							設計	中規模	
								35,000	
高浜住宅3号棟					設計		長寿命化	長寿命化	
								35,000	
高浜住宅4号棟					設計		長寿命化	長寿命化	
								35,000	
高浜住宅5号棟								設計	中規模
									35,000
高浜住宅集会室					設計		長寿命化		
								25,449	
高浜住宅6号棟				設計	中規模				
								35,000	
高浜住宅7号棟					設計		中規模		
								35,189	
高浜住宅8号棟							設計	中規模	
								35,000	

高浜住宅 ガス庫・ポンプ室									
高浜住宅9号棟							●	設計	中規模
									35,000
高浜住宅10号棟								●	設計
高浜住宅11号棟									
高浜第二住宅12号棟									
高浜第二住宅13号棟									
高浜第二住宅14号棟									
高浜第二住宅15号棟									
花貫住宅1号棟									
花貫住宅2号棟									
花貫住宅3号棟									
花貫住宅4号棟									
花貫住宅5号棟	中規模	●							
	14,201								
花貫住宅6号棟								●	設計
花貫住宅集会室									
花貫住宅7号棟	●	設計		中規模	●				
				15,070					
花貫住宅A棟	●			住替え				住替え	住替え
花貫住宅B棟	●			住替え				住替え	住替え
花貫住宅C棟	●			住替え				住替え	住替え
石滝住宅1号棟									
石滝住宅2号棟									
石滝住宅3号棟									
石滝住宅4号棟									
石滝集会所									

萩ヶ丘住宅1～5号室	解体	10,030							
萩ヶ丘住宅11～15号室	住替え						住替え	住替え	住替え
萩ヶ丘住宅21～25号室	解体	7,073							
萩ヶ丘住宅26～30号室	解体	7,601							
萩ヶ丘住宅31～35号室	解体	5,007							
萩ヶ丘住宅36～40号室	住替え						住替え	住替え	住替え
萩ヶ丘住宅41～48号室	解体	12,826							
萩ヶ丘住宅49～56号室	住替え						住替え	住替え	住替え
萩ヶ丘集会所	解体	2,002							
坂東塚住宅1～4,6号室	解体	9,350							
坂東塚住宅7～13号室	住替え						住替え	住替え	住替え
坂東塚住宅41～42号室	解体	3,558					住替え	住替え	住替え
坂東塚住宅43～44号室	解体	3,287					住替え	住替え	住替え
坂東塚集会所	解体	2,186							
手綱住宅北1号棟 (災害)									
手綱住宅北2号棟									
手綱住宅北3号棟									設計
手綱住宅北4号棟 (災害)									

【計画を推進するための取組事業】

(達成した取組)

- 令和2年度に、花貫住宅5号棟の外壁改修工事を実施。
- 令和2年度に、3棟（萩ヶ丘住宅1～5号室、萩ヶ丘住宅31～35号室、坂東塚住宅1～4,6号室）を解体。
- 令和3年度に、2棟（萩ヶ丘住宅21～25号室、萩ヶ丘住宅26～30号室）を解体。
- 他市営住宅への住み替え促進（坂東塚住宅41～42号室、坂東塚住宅43～44号室）

(今後の方向性)

- 引き続き、萩ヶ丘住宅3棟（11～15号室、36～40号室、49～56号室）、坂東塚住宅1棟（7～13号室）について、他市営住宅への住み替えを促す。
- 花貫住宅A棟～C棟について、令和11年度までの用途廃止に向けて入居者に対して他の市営住宅への住み替えを促していく。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

計画どおり達成したためA評価。

(7) コミュニティ施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は15棟（約28%）ある。また、築20年未満の棟についても劣化が見られ、全体的に劣化が進行している。

■ 利用・運営状況

- ・ 利用者数は全体的に減少傾向にあり、小規模集会施設では1日当たりの利用が1人未満の施設が大半を占めており、管理計画改訂時からさらに利用者が減少している。
- ・ 住民1人当たりの利用回数は、以前同様高岡地域が相対的に多くなっているが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、全体的に利用者・利用回数は減少している。
- ・ 集会所・生活改善センター・公民館分館については、市直営施設で地元住民の方を管理人として委嘱している。

② 施設類型の基本方針

- 集会所・生活改善センター・公民館の管理課が異なるため、管理を一元化し、施設の具体的な集約・廃止方針を検討する。
- 将来的な集約・廃止を見据え、長寿命化改修は行わずに、耐用年数までは、消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 現在利用頻度が低い施設については、耐用年数が残っていても中規模修繕は行わず、事後保全とする。
- 集約後の施設は、用途廃止後、解体を基本とする。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
中央公民館					集約化	中央公民館機能は総合福祉センターへ集約	解体		
石滝公民館			所管替え		施設の集約・ 廃止方針を 検討	総務課へ所管替え			
竹内公民館			所管替え			総務課へ所管替え			
安良川公民館		解体 11,194	解体 10,630			安良川公民館328.67㎡解体 敷地494.36㎡は総務課へ移管			
松岡地区公民館					中規模 (築35年)				
若栗公民館			所管替え			総務課へ所管替え			
中戸川公民館			所管替え			総務課へ所管替え			

有明町集会所							中規模 (第50年)	5,850	
肥前町集会所									
東本町集会所									
駒形集会所									
翠ヶ岡集会所							中規模 (第20年)	2,520	
本町・春日町集会所									解体 (第25年)
石滝上ノ台集会所									4,200
駒木原集会所							中規模 (第51年)	5,700	
向洋台集会所							中規模 (第10年)	4,830	
島名東集会所									
上島名千代町集会所									
秋山中集会所									
秋山南集会所									
和野集会所									
台高萩集会所									
高戸集会所									
行人塚集会所					施設の集約・ 廃止方針を 検討		中規模 (第51年)	6,120	
上原集会所					施設の集約・ 廃止方針を 検討				
小島団地集会所									中規模 (第42年)
千代田集会所									6,990
関口集会所									
てつな住宅団地集会所									
福平集会所									

秋山生活改善センター									
秋山下生活改善センター									
秋山中集落センター									
島名多目的研修会館									
山手集落センター (山手公民館)									
北組コミュニティセンター									
上手綱生活改善センター									
下組生活改善センター									
石舟生活改善センター									
赤浜田園都市センター									
大能生活改善センター									
上君田生活改善センター									
横川生活改善センター									
横川多目的集会所施設 (体育館)							設計	解体	
横川多目的集会所施設 (校舎)							3,400		
横川多目的集会所施設 (校舎)							設計	解体	
横川多目的集会所施設 (校舎)							上記に含む		
緑の郷コミュニティセンター					トイレ等 改修予定 11,200				
大金田多目的集会所					施設の集約・ 廃止方針を 検討				
鳥曽根多目的集会所					施設の集約・ 廃止方針を 検討				
高萩市里山交流館						上君田生活改善センターとの集約・廃止方針 を検討			
高萩市民センター		中規模 18,150				2021年 トイレ洋式化改修工事			
森林公園					設計	2022年度策定の基本構想を基に、2023年度 からサウンディング型市場調査により進めてい く。	建替		
花貫物産センター (処理所・加工場)									設計
花貫物産センター (食堂・調理室)									設計

※公民館（地区公民館を含む）は、特定建築物定期点検（1回/3年）及び消防設備点検（1回/年）を実施

※その他のコミュニティ施設も、消防設備点検（2回/年）を実施

【計画を推進するための取組事業】

（達成した取組）

- 安良川公民館の解体（地域への説明と合意形成がスムーズにできたため）。
- 横川多目的集会所施設（校舎・体育館）について、解体方針の決定（同敷地内の施設を利用するため）。
- 市民センターの中規模修繕（地方創生臨時交付金を活用できたため）。

（未達成の取組）

- 全体的なコミュニティ施設の集約・廃止方針の決定（令和元年度にコミュニティ施設部会を開催し、各施設の利用実態の把握、統廃合に向けたルール作りについて検討することに取り組んだ。しかしながら、施設の集約・廃止の前提となるコミュニティのあり方について協議を進めているため、施設の集約・廃止方針の決定までには至っていない）。

（今後の方向性）

- コミュニティ施設の集約・廃止の方針について、集会所所管課の業務の見直し及び人員増強を行い、コミュニティ施設部会の体制整備を図る。その上で早急にコミュニティ施設集約・廃止方針を決定し、施設の統廃合を進める。
- 中央公民館は、令和6年度に総合福祉センターに機能を移転させ、福祉施設に社会教育施設を統合することで、施設の複合化を図る。今後は、松岡地区公民館についても、同様に検討していく。
- 石滝公民館、竹内公民館、若栗公民館、中戸川公民館は、令和5年度から集会所として、総務課に移管予定（管理の一元化）。
- 生活改善センターは、集会所として移管を検討。
- 森林公園は、再整備基本構想をもとに、民間事業者活用の検討。
- 花貫物産センターは、高岡地域の活性化を図るための拠点施設であり、今後も適正に管理していく。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

計画どおり達成できなかったためC評価。

(8) 学校施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築40年以上の棟は13棟(52%)で老朽化が進行しているが、建物によっては良好な建物もあり、改修が行われている。

■ 利用・運営状況

- ・ 君田小中学校は松岡小中学校へ統合した。
- ・ 平成29年度に東幼稚園を東小学校内に複合化した。
- ・ 児童生徒数は減少傾向にあり、今後20年で約40%減少予測となっており、将来の児童生徒数に見合った学校規模や配置を検討する。
- ・ 小学校では、水泳の授業を外部委託しており、プールの利用はなし。

② 施設類型の基本方針

- 将来の児童生徒数を見据え、適正規模・適正配置により総量を圧縮する。
- 小学校のプールは、順次解体する。

③ 個別施設ごとの実績(2021(令和3)年度まで)と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用(千円)

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績(見込)	計画	計画		計画	計画	計画
高萩小学校 北側教室棟									
高萩小学校 南管理・教室棟									
高萩小学校 体育館									
高萩小学校 プール						設計 解体 34,100			
東小学校 特別教室棟									
東小学校 普通教室棟			高萩市立 小中学校 適正規模 ・適正配置 基本方針	(仮称)高 萩市立小 中学校適	個別施 設計画 (2024~)				
東小学校 管理・特別教室棟				正規 規模・ 適正配 置 実施計 画					
東小学校 体育館									
東小学校 プール					設計 解体 34,100				
高萩中学校 普通教室棟西側									
高萩中学校 特別教室棟西側									
高萩中学校 技術室									

高萩中学校 武道場									
高萩中学校 体育館									
高萩中学校 プール									
秋山小学校 管理・教育棟									
秋山小学校 北側校舎									
秋山小学校 体育館									
秋山小学校 プール							● 設計 ● 解体 34,100		
秋山中学校 普通教室棟									
秋山中学校 管理・特別教室棟									
秋山中 体育館									
秋山中学校 プール									
松岡小学校 教室棟									
松岡小学校 体育館									
松岡小学校 プール	● 設計 ● 解体 30,910								
松岡中学校 普通教室棟									
松岡中学校 特別教室棟									
松岡中学校 普通教室棟増築分									
松岡中学校 体育館									
松岡中学校 プール									
学校給食センター				● 検討委員会設置					
高萩小中一貫校施設				● 設計	集約する学校施設は小中学校適正規模・適正配置実施計画をもとに検討。(令和5年度に決定)		● 設計	● 建設	3,500,000

【計画を推進するための取組事業】

（達成した取組）

- 令和2年度に松岡小学校プールを解体（水泳授業の外部委託を実施）。

（未達成の取組）

- 令和2年度、令和3年度に計画していた検討委員会の組織、人選等の検討（幼稚園の集約、幼・保一元化施設の建設に注力し、「学校施設のあり方検討委員会（仮）の立上、計画策定」をする組織の体制が整わなかったため）
- 令和3年度に予定していた東小学校プールの解体（防火貯水槽としての利用が想定されるため時期を延期）

（今後の方向性）

- 令和4年度に策定する学校適正規模・適正配置基本方針及び令和5年度に策定予定の同実施計画で学校施設の集約化の方針を決定する予定。
- 小学校プールの解体については、防火貯水槽としての利用も想定されるため、地域防災力の低下にならないよう消防と協議して進める。
- 高萩中学校、秋山中学校については、令和5年度、水泳授業の外部委託を実施。中学校プールについても、水泳授業の外部委託及びプール施設の解体を順次検討。
- 学校給食センターは、令和12年度以降の建て替えを検討。小中学校の適正配置計画を受け、設置場所・規模等の検討。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

計画どおり達成できなかったためC評価。

(9) 保育所・幼稚園

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 令和2年度に、第一幼稚園を解体している（なお、令和4年度には高萩保育所を解体している）。
- ・ 松岡幼稚園、旧東幼稚園、秋山幼稚園の3棟は、いずれも築30年以上経過しており、旧東幼稚園舎は築50年以上経過している。いずれの棟も劣化が顕在化している。
- ・ 令和3年度には、たかはぎ認定こども園を整備している。

■ 利用・運営状況

- ・ 令和3年度における各幼稚園の入園率はいずれも30%以下と低い状況。
- ・ 令和4年度から高萩保育所、第一幼稚園、東幼稚園を統合し、たかはぎ認定こども園を開園している。
- ・ 市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 将来的には幼保一元化を推進し、現在保有する5施設を集約して総量を圧縮する。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
高萩保育所	● 幼・保一元化施設へ移転 ● 解体								
			31,295						
第一幼稚園	● 幼・保一元化施設へ移転 ● 解体								
	30,000								
松岡幼稚園				● 幼・保一元化施設へ移転 ●					
東幼稚園（東小校舎内）	● 幼・保一元化施設へ移転 ●						設計	● 解体 ●	
							33,000		
秋山幼稚園				● 幼・保一元化施設へ移転 ●		園児数の推移により先送りの可能性あり。		設計	● 解体 ●
								33,000	
幼・保一元化施設	● 設計・建設 ●								
	802,200								

【計画を推進するための取組事業】

（達成した取組）

- ・ 令和3年度から高萩保育所の解体に取り組んだ（請負業者、地権者との調整が順調に進んだため）。
- ・ 幼・保一元化施設たかはぎ認定こども園について、計画どおり設計・建設を行った（令和4年4月に開園することとしていたため）。
- ・ 令和2年度に第一幼稚園を解体（幼・保一元化施設が開園するまでの間、東小学校を利用することができたため）。

(今後の方向性)

- 東幼稚園は、令和4年度に施設を解体予定であったが、財政状況等により時期を変更。
- 松岡幼稚園については、園児数の減少により、令和5年3月をもって閉園（たかはぎ認定こども園との統合）。施設の利活用について検討する予定。
- 秋山幼稚園は、園児数の減少状況により閉園の具体的な検討。閉園後の施設は解体を検討。
- 将来的には、1施設に集約する。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

計画どおり達成したためA評価。

(10) 環境衛生施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 4 棟のうち、1 棟は築 10 年で劣化は見られないが、築 30 年以上が 1 棟、築 20 年以上が 2 棟あり、劣化が顕在化している。

■ 利用・運営状況

- ・ リサイクルセンター、クリーンセンターの稼働状況はほぼ横ばいで推移している。
- ・ 斎場の利用は、年度によりばらつきがある。
- ・ 市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 施設の稼働率等を考慮の上、施設の更新時に適正規模を検討し圧縮を図る。
- 広域ゴミ処理施設を建設予定のため、リサイクルセンターの機能が広域ゴミ処理施設へ移転するため、その後の利活用を検討する。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和 3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
高萩市リサイクルセンター			利活用検討						
高萩市斎場			中規模 22,132				設計	長寿命化 230,200	
高萩市花貫クリーンセンター（処理棟）	中規模 21,120	中規模 3,850							
高萩市花貫クリーンセンター（管理棟）									

【計画を推進するための取組事業】

（未達成の取組）

- ・ 高萩市リサイクルセンターの利活用検討（新施設との兼ね合い等から、現時点において貸付範囲を明確にすることが困難であったため）。

（今後の方向性）

- ・ 高萩市リサイクルセンターは、本市と北茨城市により新たに建設される広域ごみ処理施設が令和 5 年度より稼働することに伴い、民間への賃貸など有効な利用方法を検討していく。
- ・ 高萩市斎場は長寿命化（令和 8 年）を実施し、高萩市花貫クリーンセンターは中規模修繕（令和 12 年）を実施し、施設管理に努める。

④ 実績（2021（令和 3）年度まで）と計画の整合性

計画どおり達成できなかったため C 評価。

(11) 消防施設

① 現状と課題

■ 老朽化状況

- ・ 築30年以上は9棟（約39%）であるが、建物によっては良好な建物もあり、改修が行われている。
- ・ 市の直営となっている。

② 施設類型の基本方針

- 耐用年数まで消防等の定期点検と中規模修繕で対応する。
- 消防庁舎は、津波浸水想定エリアにあるため、建替えについては場所を含め検討する。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
高萩市消防本部	中規模 12,375	中規模 6,945			中規模 26,125	2020年度トイレ改修工事 2021年度消防庁舎訓練塔LED改修工事 2024年度消防庁舎外壁塗装			
第1分団消防詰所									
第2分団消防詰所									
第3分団消防詰所									
第4分団消防詰所									
第5分団消防詰所									
第6分団消防詰所									
第7分団消防詰所									
第8分団消防詰所									
第9分団消防詰所									
第10分団消防詰所									
第11分団消防詰所									
第12分団消防詰所									
第13分団消防詰所									
第14分団消防詰所									

第15分団消防詰所									
第16分団消防詰所									
第17分団消防詰所									
第18分団消防詰所									
第19分団消防詰所									
第20分団消防詰所									
第21分団消防詰所									
防災行政無線中継局									

【計画を推進するための取組事業】

（達成した取組）

- ・ 消防庁舎について、地方創生臨時交付金を活用して、令和2年度と令和3年度に中規模修繕を行うことができた。

（今後の方向性）

- ・ 計画に沿って実施していく。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

この期間は計画していた取組はなく、判定するものがないためD評価。

(12) 閉校・廃止施設

① 現状と課題

- ・ 君田小中学校は松岡小中学校へ統合した。
- ・ 旧第2庁舎は築32年であるが、劣化が顕在化している。旧仮設庁舎D棟は築9年で建物の状態も良好である。
- ・ 旧第2分庁舎は、外部団体に貸付をしている。
- ・ 旧分庁舎、旧仮庁舎分室会議室、旧仮設庁舎D棟は倉庫として有効活用している。

② 施設類型の基本方針

- 老朽化が進行し耐用年数をむかえた施設は解体する。
- 利活用を検討する。
- 旧君田小中学校については、定期貸付（10年）をしている。貸付期間中の修繕等は借受け者が実施する。

③ 個別施設ごとの実績（2021（令和3）年度まで）と今後の方向性

上段：取組内容 下段：取組にかかる費用（千円）

施設名	年次計画					備考	年次計画		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年		2025年	2026年	2027年
	実績	実績	実績（見込）	計画	計画		計画	計画	計画
旧分庁舎				売却					
旧第2分庁舎									
旧仮庁舎分室会議室						調整調査	解体工事	7,380	
旧仮設庁舎D棟									
倉庫（駒木原倉庫）	解体工事 16,500								
旧君田小学校	民間事業者へ貸付中 歳出なし						民間事業者へ貸付中 歳出なし		
旧君田中学校	民間事業者へ貸付中 歳出なし						民間事業者へ貸付中 歳出なし		
旧君田小中学校体育館	民間事業者へ貸付中 歳出なし						民間事業者へ貸付中 歳出なし		

※旧仮設庁舎D棟は、消防設備点検（2回/年）を実施

【計画を推進するための取組事業】

（達成した取組）

- ・ 令和2年度に倉庫（駒木原倉庫）を解体。

(未達成の取組)

- 旧分庁舎、旧仮庁舎分室会議室の解体（倉庫として有効活用しており、その代替になる施設を確保できなかったため）。

(今後の方向性)

- 旧分庁舎は、代替となる施設の確保を行い、民間に売却を実施。
- 旧仮庁舎分室会議室は、代替となる施設の確保を行い、解体を実施。
- 旧第2分庁舎は、令和12年～令和21年の期間内に施設解体予定。
- 旧仮設庁舎D棟は、長寿命化対策を実施し、使用継続。

④ 実績（2021（令和3）年度まで）と計画の整合性

達成した取組と未達成の取組があるためB評価。

8 コストシミュレーションについて

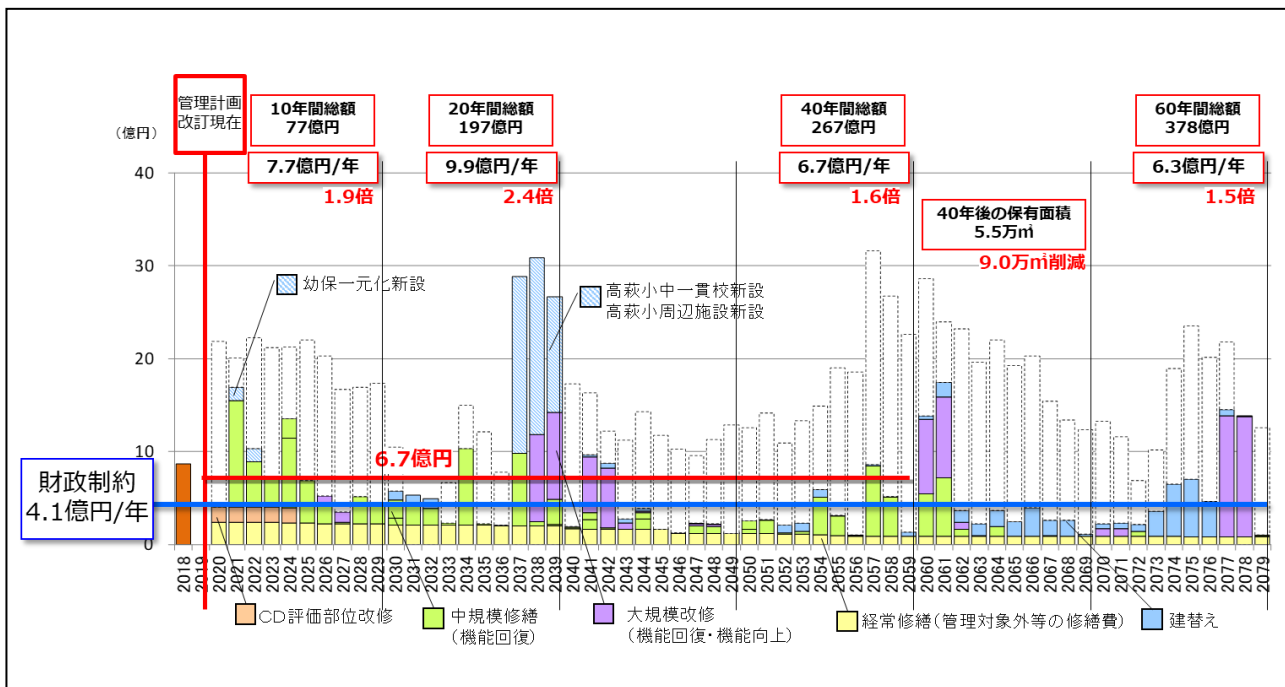
公共施設総量圧縮によるコスト削減

管理計画では、施設類型別の改善の方向性に基づき、機能移転や複合・集約化等を順次実施し、維持する施設については適切な更新を行った場合の更新費用を算出しています。

段階的に再編を実施することで、最終的には、面積は約 5.5 万㎡、現状から約 9.0 万㎡削減される計画となっています。それに伴う更新費用は、令和 2 年度から令和 11 年度の 10 年間では、77 億円・年平均 7.7 億円と試算しています。

「7 個別施設計画の進捗および現状について」で推計した費用は、8 年間で 63 億円・年平均 7.9 億円であり、およそシミュレーションと同程度の更新費用を見込んでいます。

図表 公共施設総量圧縮した場合のコストシミュレーション



9 最近の主な取組

令和2年度、令和3年度に行った主な取組は以下のとおりです。

【保有量適正化のための取組】

- 市営住宅の解体（令和2年度、令和3年度）
- 第一幼稚園の解体（令和2年度）
- 倉庫の解体（令和2年度）

【集約化・複合化のための取組】

- たかはぎ認定こども園の建設（令和3年度）
※高萩保育所、第一幼稚園、東幼稚園を統合し、令和4年度から開園。

このほか、令和4年度において、すでに以下のとおり取り組んでいます。

【保有量適正化のための取組】

- 市営住宅の解体
- 安良川公民館の解体
- 高萩保育所の解体

【集約化・複合化のための取組】

- たかはぎ認定こども園へ松岡幼稚園統合に向けての取組
- 総合福祉センターへ中央公民館の機能移転に向けての取組

【施設情報の管理】

- 財務書類の作成に日々仕訳を導入。

（背景）

統一的な基準による財務書類を作成し、平成28年度決算より公表。
発生主義会計を取り入れることでストック情報（資産・負債）や見えにくいコスト情報（減価償却等）を見える化し、公共施設等のマネジメントへの活用充実を図ってきた。
日々仕訳の導入により、財務書類の完成の早期化を図り、コスト把握や進捗確認が円滑になることが期待される。

10 今後について

中間評価では、管理計画全体の事業実施体制や事業実施過程の評価および成果指標の進捗状況の評価を行いました。

管理計画の事業実施体制や事業実施過程について、計画どおり取り組めた事業もありましたが、事業実施体制や計画を推進させるための現状分析等に不足があったと評価しています。

また、管理計画の目標である、延床面積の削減は、管理計画改訂時と比較して微減であり、人口減少も伴い、1人当たりの延べ床面積は微増した結果になりました。

事業実施体制の不足や、事業とアウトカムの関連が弱いこと等が考えられるため、今後計画後半期における計画推進に向けて、進捗が滞っている事業については、事業推進を図るための方策を検討するとともに、各関係部署で連携し、進捗状況や課題を共有しながら体制構築を推進していきます。

また、今後はハード面だけではなく、日々仕訳に対応したデータベースの蓄積（施設カルテ※の整備）によって、施設を体系的に捉え、データに基づきながら施設の集約化・複合化を検討するとともに、公共施設マネジメントを進めるうえで課題となる財源確保に向けて、施設の集約化に伴う遊休資産の利活用や官民連携の取組について研究してまいります。

※施設カルテ…施設の基本情報のほか、収支状況や運用状況などの情報を、施設ごとにまとめたもの。

公共施設マネジメントとSDGs

将来にわたり持続可能なまちであるために

- 公共施設の適正な管理運用と効率的かつ多様性のある活用
市民が利用しやすい公共サービスを提供するために、ストック資産の有効的な運用を進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



講評

本中間報告は、個別計画の中間年度に当たる令和4年度において、全体の進捗状況、取り組み状況等について確認と評価を行い、その結果を今後の個別計画に反映させるために実施したものである。

結論としては、計画通り進めることができた点もある一方、多くの点では不足が目立っており、全体として大幅な改善が必要と評価している。

その際、個々の事業の進捗はもちろんのことであるが、計画を進めることの障害を取り除くことにも傾注しなければならない。障害とは、公共施設等が減少すると公共サービスとしての質も低下するのではないかという認識、言い換えると、施設と機能を一体とみる認識である。

これは誤解であり認識の変容が必要である。施設と機能は別物であり、施設が減少しても機能を維持することはできる。すでに、全国各地で、①共通する機能を持つ施設同士を統廃合する集約化、②学校と地域が保有している同種の施設を一つにして共同利用する共用化、③民間や地域住民への施設譲渡や民間施設の利用によって機能を確保するソフト化、④他の自治体と共同設置する広域化、⑤独立施設ではなく複合的な機能を一体的に整備する多機能化などの手法が開発され、多くの事例が出ている。これら以外にも、予防保全によるライフサイクルコスト（建設費だけでなく、改修費や維持管理費を含めた総費用）の削減、公民連携や余剰不動産の民間利用、DXの活用によるサービス方式の変更などの事例も多い。

今まで通りの公共施設が必要という考え方に固執すると、当面は可能だとしても、いずれは持続不可能となり、その結果、機能も失われかねない。これは、次世代に対して責任ある姿勢とは言えない。様々な手法を工夫して、施設を減らしつつ機能を持続させる方法を実行するべきである。

こうしたことから、本中間報告では、「施設の減少による財政的な持続性の確保およびそれに伴う安全性の確保」と、「公共施設によって提供している機能の確保」を同時に実現すべきこととし、具体的には、「1はじめに」において、「公共施設マネジメントは、市民の生命と財産を第一に考え、限られた財源の中で適切な老朽化対策を講じていくために、人口規模に合わせた適正配置と適正量保有を目指す、大変重要な取り組みです。その取り組みを推進するにあたっては、公共施設の整備や管理運営をより一層効率的に行い、既存施設の集約化・複合化を推進していくこととなりますが、本市では、機能は減らすことなく、施設を集約することで、それによる利便性の向上や機能の充実を図ることとしています。」と明記した。

現在、全国で個別計画が進められているのは、今置かれている状況を踏まえて、機能を持続的に確保・充実させていくための新しい方法を取り入れ、施設がなくても豊かな公共サービスが実現できる方法を探すためである。これは、地球全体で求められているSDGs(sustainable development goals)に通じる。SDGsは、環境、インフラ、人、産業などすべての面で、地球や人類の持続的な発展に導くための道しるべとして、多くの国、自治体、企業の賛同を得て推進されている。高萩市公共施設個別施設計画は、高萩市においてSDGsを進めるうえでの重要な要素であり、持続可能な高萩市を次世代に残していくために必要不可欠なものである。

今後の計画の実行にあたっては、これらの認識の必要性を丁寧に説明して住民と一丸となって進めていくことを期待するものである。

高萩市公共施設管理計画策定委員会
会長 根本 祐二

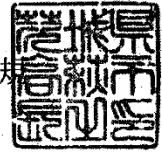
参 考 资 料



高企財第 40 号
令和5年2月13日

高萩市公共施設管理計画策定委員会会長 様

高萩市長 大部 勝 規



諮 問 書

下記の諮問事項について、貴策定委員会の意見を伺いたく、高萩市公共施設管理計画策定委員会条例第1条及び第2条の規定に基づき諮問します。

記

1 諮問事項

- (1) 高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の取組や方向性について
- (2) 高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の一部改訂について

令和5年4月10日

高萩市長 大部 勝規 様

高萩市公共施設管理計画策定委員会
会長 根本 祐二

答 申 書

令和5年2月13日付け高企財第40号で諮問のあったことについては、下記のとおり答申いたします。

記

- 1 高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の取組や方向性について

中間評価（案）

《事業実施体制》

不足していた

《事業実施過程》

不足していた

《公共施設の評価（成果）指標》

延床面積 : 改善が見られない

稼働率 : 改善が見られない

行政コスト : 改善が見られない

更新コスト : 評価困難

老朽化度 : 改善が見られない

計画との整合性（実施目標のあるもののみ評価）

図書館 : 実施目標を達成している

福祉施設 : 実施目標を達成している

市営住宅 : 実施目標を達成している

コミュニティ施設 : 実施目標未達成

学 校 施 設	:	実施目標未達成
保育所・幼稚園	:	実施目標を達成している
環境衛生施設等	:	実施目標未達成
閉校・廃止施設	:	実施目標には届かなかったが実施した

2 高萩市公共施設等管理計画改訂版及び高萩市公共施設個別施設計画の一部改訂について

《脱炭素化の推進方針（案）》

- ・複合・集約化にあたっては、拠点を中心に公共公益機能を集積する。
- ・公共施設の改修や更新を行う際は、福祉や生活環境用の維持向上のため、ユニバーサル・デザイン化を進めるとともに、太陽光発電や蓄電の導入、省エネルギー改修など、脱炭素化の取組を推進する。

付記事項

- 目標に対して不足している取組みがある場合は、それを明確にして、次の推進につなげること。
- 面積が縮小したり、施設数が減らされたりしても、市民が幸福感や満足感を感じるために、公共施設の再編は、人口減少時代を生きていくための生き方や住まい方をアップデートするものという意識づけを図ってほしい。
- 市民と民間事業者の協働については、市民の主体性に働きかけるような取組みを行い、人とモノを育てるまちづくりを目指してほしい。
- 児童生徒数の減少に伴い発生した空き教室を、地域の方々が集会利用するなど、施設の余剰スペースを有効活用することで、施設と市民の双方にメリットがあるような利活用方策についても検討してほしい。
- 機能が豊かになって、コストが下がる方向性で取り組んでほしい。